

(公社) 日本ホッケー協会 令和7年度定時総会

令和6年度（2024年度）

日本ホッケー協会の活動についてご報告

---

2025.6.14



- 1. 活動概要 ……P2
- 2. 2024年度の事業報告
  - 2-1 戦略統括本部 ……P10
  - 2-2 強化育成本部 ……P30
  - 2-3 事業本部 ……P73
  - 2-4 コーポレート本部 ……P103
  - 2-5 専門委員会 ……P120
  - 2-6 事務局 ……P134
- 3. 2024年度の決算報告 ……P142
- 4. 2025年度の事業計画 ……P146



# 1. 2024年度の活動概要

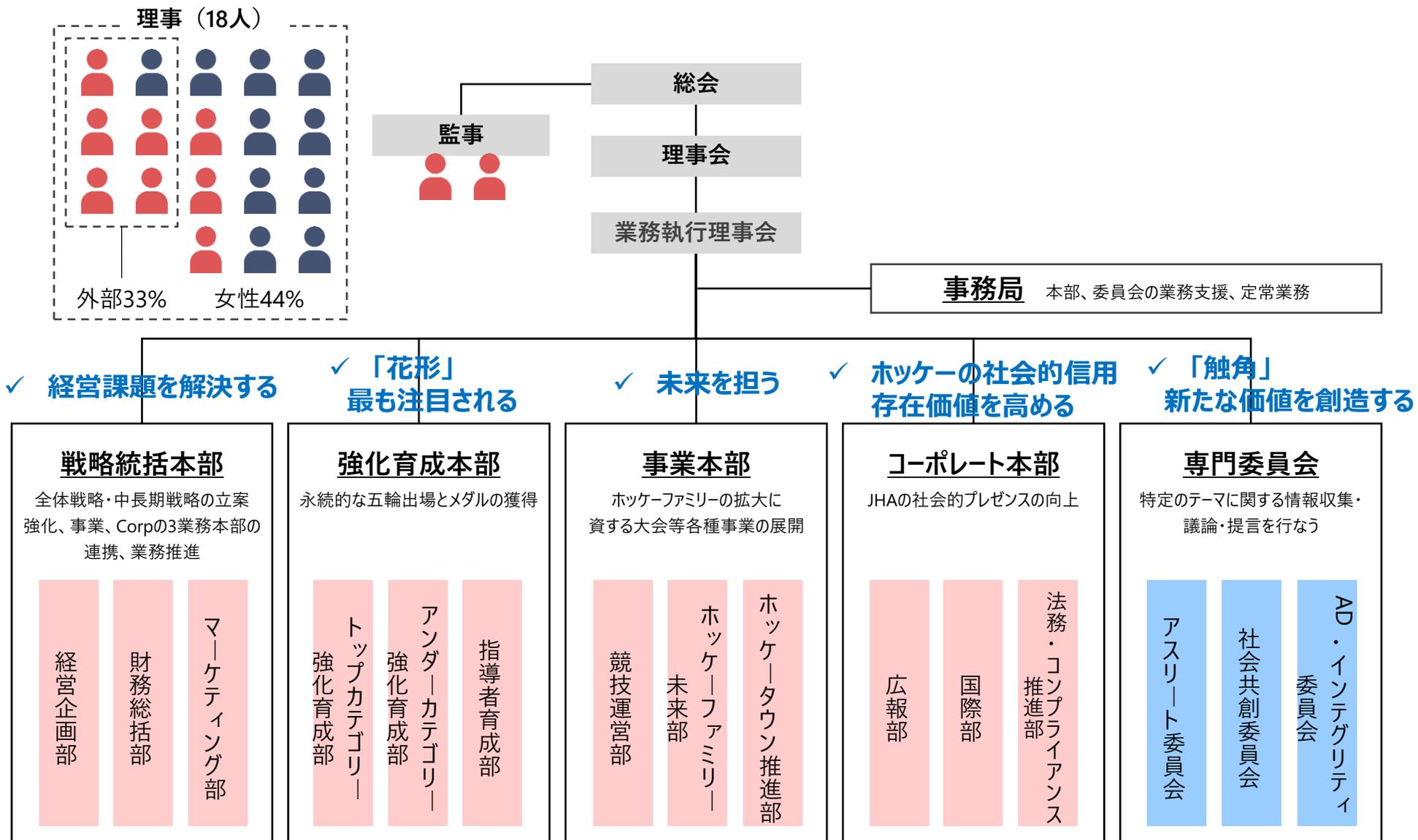
専務理事 多氣洋平

- 5月 : 高円宮杯2024ホッケー日本リーグ ※12月まで
- 6月 : 定時総会、SOMPO JAPAN CUP 2024、全日本大学王座（関西）
- 7月 : パリ2024五輪（フランス）、インターハイ（長崎県）
- 8月 : 全日本中学生選手権（富山県）
- 9月 : 全国スポ少交流大会（東京都）、全日本マスターズ（北海道）  
全日本社会人選手権（滋賀県）
- 10月 : 国民スポーツ大会（佐賀県）
- 11月 : インカレ（東京都）、FIH/AHF総会（オマーン）  
全日本中学生11人制（福井県）、全日本女子選手権（岡山県）
- 12月 : マスターズJapan CUP（東京都）  
U21男女 AHFジュニアアジアカップ（オマーン）  
全国高校選抜（岐阜県）、全日本男子選手権（東京都）
- 2月 : 全国ルール研修会（大阪）、JHAカンファレンス（東京）

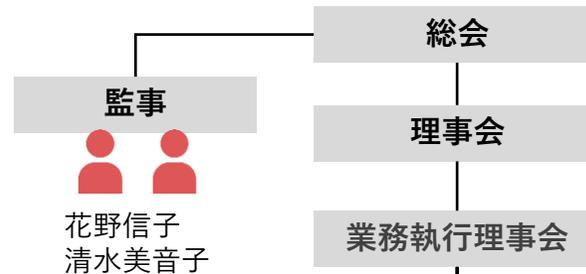
# 安定・安心

- ・財務状況の改善（ローリスク、安定的な事業実施）
- ・透明性のある協会運営による信任獲得（不安の払拭）
- ・現状に即した長期方針の更新（Rt2030の「揺らぎ」解消）

# JHAの組織体制 4本部、12部、3専門委員会

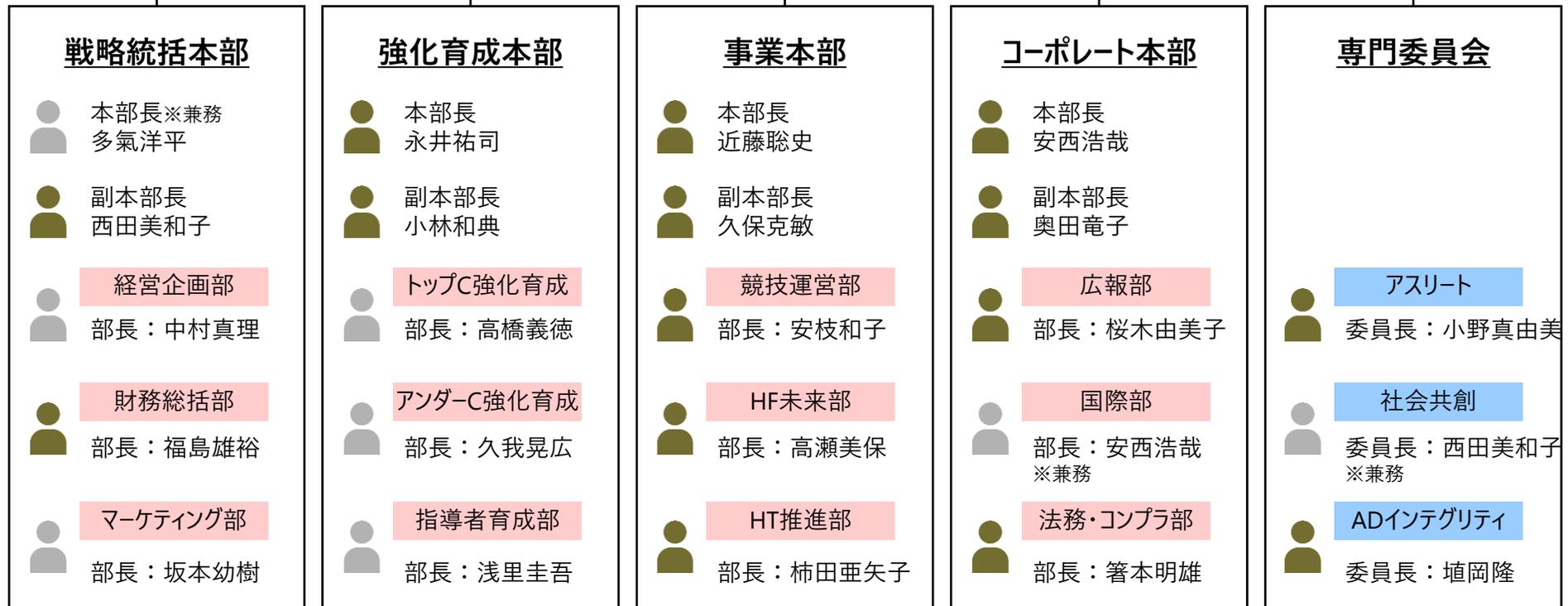


- 会長  
三須和泰
- 副会長  
北野妙子
- 専務理事  
多氣洋平



事務局長：坂本幼樹

**事務局** 本部、委員会の業務支援、定常業務



# 「Road to 2030」の更新について

東京2020前に策定された中長期方針は状況の変化に合わせ、部分的な見直しに迫られている。

Road to 2030	
ヒト、モノ、カネの増加を前提とした 拡大戦略（中長期視点）	
戦略	ホッケー独自の強み、資産を開発、 発展するブルーオーシャン戦略
基本方針	社会共創による、 ホッケーファミリーの拡大
重点領域	1強化育成 2組織 3コミュニケーション 4事業 5財源 6普及 7社会貢献 8東京2020レガシー 9W杯2030
2030年の 目標	2030W杯での男女メダル獲得
	2030W杯での観客20万人 夏季五輪種目内での知名度TOP20
2030W杯招致	ホッケーファミリー20万人



Road to 2030 Update	
限られたカネで最大限の効果を目指す 選択と集中戦略（中期視点）	
戦略	ホッケー独自の強み、資産を開発、 発展するブルーオーシャン戦略
基本方針	社会共創による、 ホッケーファミリーの拡大
重点領域	1強化 2育成 3普及 + 組織基盤
2028年の 目標（案）	2028年LA五輪 男女出場 2026年W杯 男女出場
	U12/U15登録チーム数の維持拡大 40ホッケータウン（ほか）
1.代表チーム 2.将来への布石 3.基盤強化	パートナーシップフィーの維持拡大 機動性・実効性の高い組織への改編

『強化・育成・普及・基盤』をしっかりと整備し、力を蓄えた先にPROリーグへの参戦やW杯招致への道が拓けてくると認識

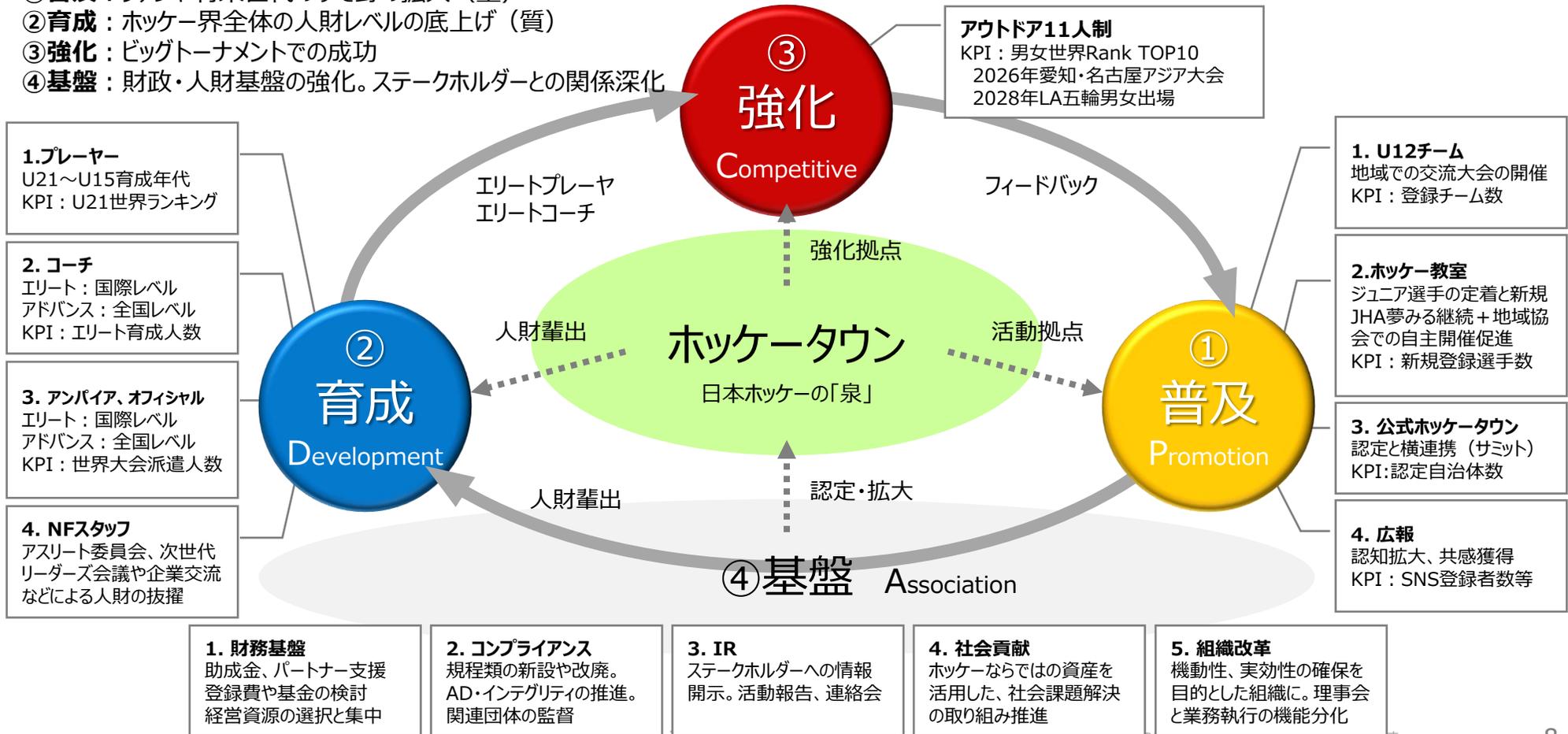
# 中期運営方針案「PDCA 2028」

**基本戦略：ホッケー独自の強み・資産を開発し発展するブルーオーシャン戦略**

**基本方針：社会共創による、ホッケーファミリーの拡大**

代表チームの長期継続的な競争力確保の為には、すそ野の拡大（普及）、支える人財のレベルアップ（育成）、組織基盤の安定が必須であると捉え、それらを支えるホッケー界100年の独自資産である「ホッケータウン」との連携・深化を推進することに重点をおく

- ①**普及**：ファンや将来世代のすそ野の拡大（量）
- ②**育成**：ホッケー界全体の人財レベルの底上げ（質）
- ③**強化**：ビッグトーナメントでの成功
- ④**基盤**：財政・人財基盤の強化。ステークホルダーとの関係深化



# JHA長期計画 “ゲームプラン2035”

世界レベルでの代表強化、大会運営能力、集客&メディア発信力を養う為、世界最高峰リーグ（FIH PROリーグ）への5年以内の参戦を目下の目標とする。TOPリーグへの参戦はこれまでにない大きな資金や人的リソースが必要となるが、「PDCA」が一体となって、日本を地力を世界レベルに引き上げ、世界の強豪の一角として、永続的に世界大会で結果が出せることを目指したい。

ベンチマークとなる国際大会

	第1クォーター 2024～26	第2クォーター 2027～29	第3クォーター 2030～32	第4クォーター 2033～35								
ゲームプラン 基本方針	大事な立ち上がり しっかり守備から (ローリスク・力を蓄える)	チャンスを見極め、PCを狙う (局地戦)	ゲームを支配し、得点を狙う (全方位)	有終の美・勝利 次戦につなげる (集大成)								
FIH W杯	2026W杯 男女出場	2028 2034W杯招致プロポーサル	2030W杯 男女ベスト8 2034W杯決定	2034日本W杯開催 男女優勝								
オリン ピック	パリ2024 女子出場	LA2028 男女出場	ブリスベン2032 メダル獲得	インド? 2036 金メダル								
FIH PROリーグ	世界8ヶ国が参加できる国別 世界最高峰リーグ。アジアでは、 インド男女、中国女が参戦。 参加国が持ち回りで開催	2028 PROリーグ参戦 可能性①	2030 PROリーグ参戦 可能性②	2035 PROリーグ優勝								
Asian Games	2026愛知・名古屋 男女TOP2		2030カタール・ドーハ 男女優勝	2034大会 男女優勝								
強化予算 (百万円)	FY24 200	FY25 200	FY26 250	FY27 280	FY28 300	FY29 300	FY30 450	FY31 480	FY32 480	FY33 530	FY34 530	FY35 530
追加必要人材		1名	1名	1名	1名	1名	2名	2名	2名	2名+	2名+	2名

## 2-1. 2024年度の活動報告

### 戦略統括本部

経営企画部、財務総括部、マーケティング部

戦略統括本部長 多氣洋平

## JHAの経営課題を解決する。

FY24：財務基盤、インナーコミュニケーション、中経

### 各部の活動概要

#### 経営企画部

- ・活動報告の充実。情報開示、情報交換の場づくり  
→地域協会を主としたステークホルダーとの相互理解
- ・組織改革の検討 →経営と執行の分化によるガバナンスの強化、意思決定の迅速化
- ・関係団体のガバナンス強化サポート →スポーツ庁NFガバナンスコードの遵守
- ・人財の確保と継続性の担保

## 財務総括部

- ・予実管理の精緻化
- ・補助金事業の活用と事務作業負荷増加のバランス検討
- ・新規財源としての、基金の設立（エンダウメント投資）等の検討

## マーケティング部

- ・既存パートナー企業との関係値の継続、新たなアクティベーションの提案
- ・新規パートナー企業（団体）の開発
- ・アウトソーシングによる、慢性的な人手不足の解消





# 経営企画部) JHAカンファレンス

ホッケータウンプレサミット  
(2025年2月10日開催)

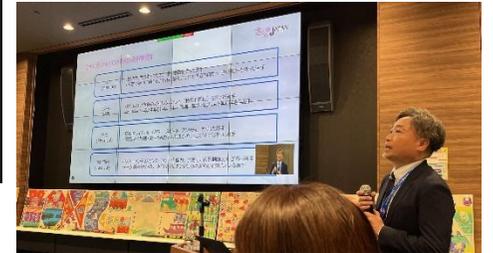
2024年度 全国都道府県ホッケー協会  
専務理事・事務局長連絡協議会 (2025年2月11日開催)



ホッケータウンの方からの情報提供



地域の名産品が持ち込まれた会費制の懇親会



## 経営企画部) 連絡会と地域協会の取り組みに関するアンケート

### 2月11日開催のJHA連絡会と地域協会の取り組みに関する アンケートの実施と結果をJHA HPに公開

#### 調査概要

調査名 : JHA連絡会と地域協会の取り組みに関するアンケート

調査目的 : 1. 次回のJHA連絡会開催に向けたフィードバックを頂戴するため  
: 2. 会議中にご要望いただいた各地域協会間の取り組みや課題の情報共有を行うため

調査内容 : 1. JHA連絡会の感想  
: 2. 地域協会での取り組みや課題について

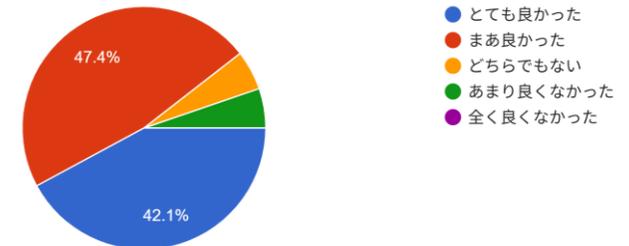
設問数 : 全13問

回答者数 : 32名

調査期間 : 2025年2月14日(金)～2月28日(金)

実施主体 : 日本ホッケー協会 戦略統括本部 経営企画部

Q5.全体を通して、今回のJHA連絡会について、あてはまるものをお知らせください。  
19件の回答



## 経営企画部) 連絡会と地域協会の取り組みに関するアンケート

アンケートにより、次回のJHA連絡会に向けて目指すべきあり方が整理され、各地域協会間にて共有すべき課題が見えてきた。本結果を元にJHAとして活動の方向性を改めて検討していきたい

### JHA連絡会について

- 初回となる JHA連絡会 の開催についてはご好評いただいた。
- 特に2024年度の活動報告として、財務状況や代表チームの活動方針に関して理解を深めていただけた。
- 一方、活動報告に要した時間が120分超と長かったことや、次回に向けてオンライン参加の要望も多くあり、会議体の運営に改善点があることを確認できた。
- また、初回であった点を踏まえつつも、日本協会から地域協会への一方的な説明が続いたという指摘もあり、地域協会を主体とした会議体の設計や意見集約、意見交換しやすい場作りが、今後に向けた課題である。

### 地域協会での取り組みや課題について

- 地域ごとに規模感の違いはあれど、限られた人員、予算の中で、地域の実態に即したホッケーの活性に取り組んでいただいていることが再確認できた。
- 「設備」、「少子化/人口減少」、「競技継続性の担保」、「財政/運転資金」、「人的リソース」の主に、5つの課題があることが再確認できた。

### 1. 月次の収支および資金繰り把握の徹底

- ・予算、実績、見込みの月次把握
- ・下振れのリスク要因の洗い出し

### 2. 収支改善に向けた活動

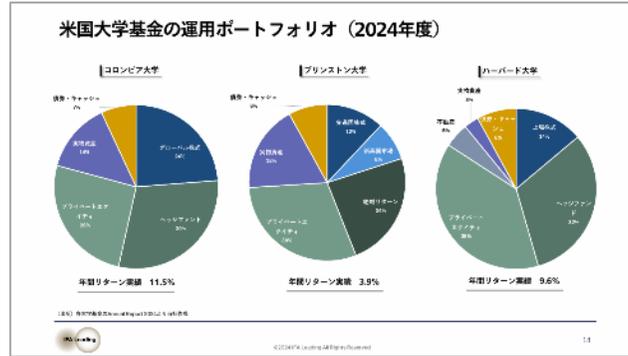
- ・主催大会における補助金活用
- ・システムコスト削減（システム利用契約の見直し）



## 新規財源の検討として、寄付金を基金化し、基金の運用益を協会運営に充てる 「エンダウメント投資」の検討・勉強会をスタート

SECTION 1

### 公益法人における資産運用の実態

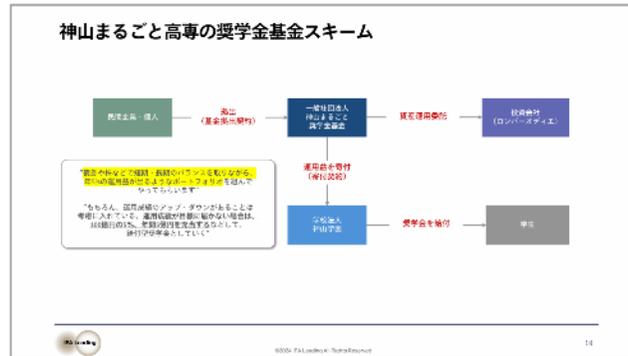


### 公益法人における代表的な運用手法：債券

債券とは

- 貸付金や債権の権利を保有する状態をいう
- 債券発行は発行者に有利な形で受け渡すことができ、債権（貸付金）になるまで権利は発行者にある（債権譲渡）が行われる
- 元金の返済は元金返済日に行われる

債券の種類	特徴
1. 国債	国債は元本の返済が保証され、内訳は国債の発行元である国債発行元である
2. 社債	社債は元本の返済が保証され、内訳は社債の発行元である会社である
3. 地方債	地方債は元本の返済が保証され、内訳は地方債の発行元である地方自治体である



学生が輝く 早稲田の未来へ!

早稲田大学応援基金

### エンダウメント投資とは？

主に卒業生や父兄などの寄付で築いた大学の巨額資産を「投資のプロ」の手にゆだねて大きく増やし、高等教育機関に必須の質の高い教授陣、イノベーションを育む施設群、優秀な学生を確保するための給付型奨学金の原資など、大学を持続的に発展させるお金を確保することが目的の活動。

参考) 早稲田大学「Waseda Endowment」 <https://www.waseda.jp/top/news/56452>

# マーケティング部) 2024年度JHAパートナー一覧

## オフィシャルスポンサー

⇒日本代表チームのユニフォームにロゴ掲出



損保ジャパン



SOMPOケア



SOMPOアセットマネジメント



ポケットカード



TACHIHI

## オフィシャルサプライヤー (物品提供)



伊藤超短波

## トラベルパートナー



## 社会共創パートナー



東京都競馬株式会社



TOKYO MONORAIL  
HANEDA

- SOMPOグループの契約満了（2025年10月まで）  
⇒ 会長以下、理事総出で新規パートナー獲得に向けて活動中
- ミズノ、味の素、伊藤超短波、京王観光
- ENEOS（JOC ジョイントマーケティング TEAM JAPAN パートナー）
- 事業への協賛・・・夢見る石川（地元企業2社）、U-12オールスター戦（ラックランド）
- 大会個別協賛・・・全日本選手権（表示灯、女子実業団チーム他）
- 新規スポンサーアプローチ





# マーケティング部) SOMPO JAPAN CUP 2024開催

公益社団法人 日本ホッケー協会  
ホッケー女子日本代表  
さくらJAPAN  
ちはやぶる 神が宿りし さくら満開  
令和6年 能登半島地震 被災地支援  
さくらジャパン 壮行試合  
SOMPO JAPAN CUP  
さくらジャパン 韓国代表  
JAPAN vs KOREA  
2024.6.30 SUN 13:30 START 試合終了後に「さくらジャパン壮行イベント」を実施!  
東京/大井ホッケー競技場 メインピッチ (大井ホッケー競技場内) 東京都品川区八潮四丁目1番19号 <東京セーバーズ(大井ホッケー競技場)下り徒歩9分>  
TICKET 原座 (マイスタンプ付無料) 大人 [前売券] 2,500円 [当日券] 3,000円 大学生 [前売券] 1,500円 [当日券] 2,000円 小学生 入場無料 ※会場では入場用のQRコードが必要です。 #ResetにてQRコードを再取得。QRコードを再取得してください。  
チケットの購入はこちらから チケット取扱い teket  
[チケット購入方法] 以下のURL またはQRコードより販売サイトにてお手続きください。  
[チケット購入サイトURL] <https://teket.jp/10111/35024>  
大会情報はこちらから  
[公式] 日本ホッケー協会 オフィシャルサイト  
[URL] <https://hockey.or.jp>  
主催:公益社団法人日本ホッケー協会 特別協賛:損害保険ジャパン株式会社

2024年6月に韓国女子チームを招聘して  
さくらジャパンのパリ五輪壮行試合を有料観客で開催  
大井ホッケー競技場の再開業以来、初の2,600名の  
動員を達成 (チケット・ソールドアウト)



ライブ配信の品質向上に挑戦⇒競技の価値の向上へ

- 男女準決勝・決勝（計6試合）のLIVE配信）  
→計5万回の再生
- プロの実況と現役日本代表選手による解説
- インタビューの放映
- インスタントスロー&リプレイ
- 選手名・顔写真・アピールポイントの表示
- スポンサーロゴの掲出



男子23 決勝 / 令和6年度 第56回 全国高等学校選抜ホッケー大会Supported by 損保ジャパン

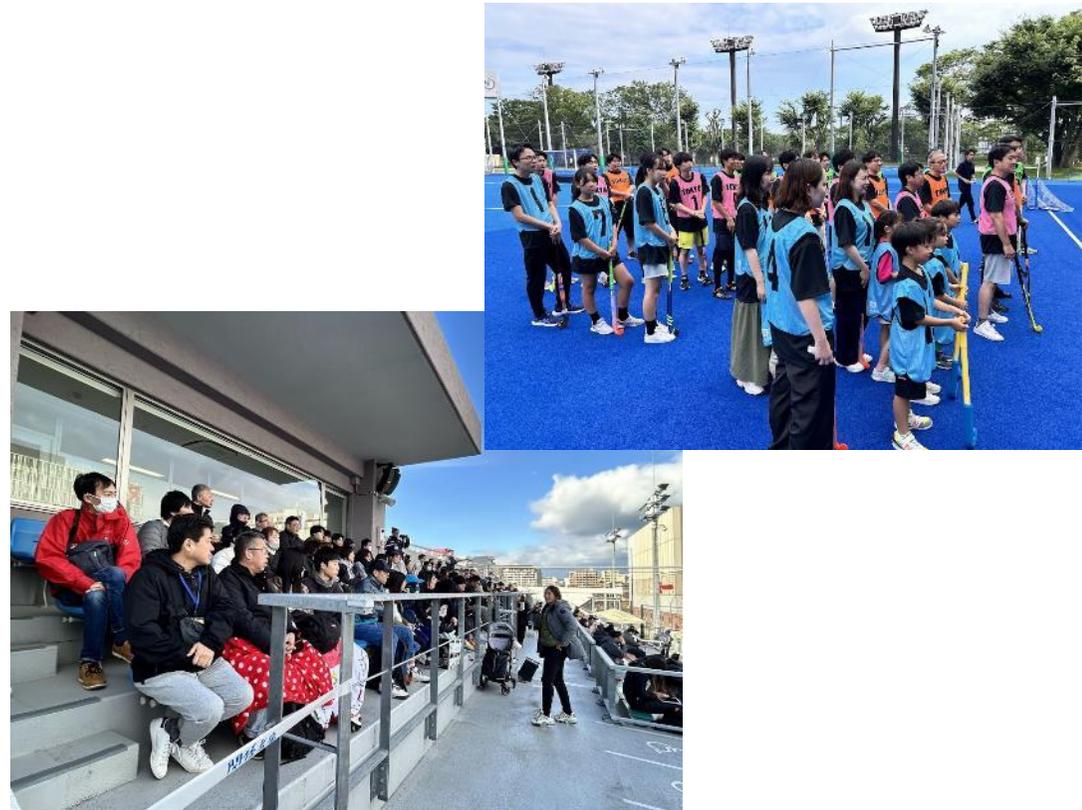


女子23 決勝 / 令和6年度 第56回 全国高等学校選抜ホッケー大会Supported by 損保ジャパン



男子23 決勝 / 令和6年度 第56回 全国高等学校選抜ホッケー大会Supported by 損保ジャパン

- 2024年度、ポケットカードがユニフォームスポンサーとして新規契約
- パリ五輪に向けての支援に加え、社内報でのロングインタビュー記事掲載、東京・大阪で社員向けの試合観戦&ホッケー体験教室を開催





# マーケティング部) オフィシャルパートナー



代表チームへのアミノ酸食品の物品提供  
 パリ五輪選手村での選手サポート (G-ROAD Station)  
 U-12オールスター戦での勝ち飯勉強会の実施



代表チームへの治療器の提供



写真出所 (伊藤超短波プレスリリース資料)

写真出所 (味の素ホームページ)



# マーケティング部) トピックス



- 全日本選手権大会への特別協賛  
⇒大会運営への協賛及び、表示灯杯と優勝賞金男女各300万円の贈呈



TEAM JAPANゴールドパートナー  
(石油・ガス・水素・電気供給)

- JOC TEAM JAPANパートナープログラムの活用  
⇒アンダーカテゴリー (U-21、18、15の男女計6チームへのユニフォーム提供)  
⇒夢見るホッケー教室への協賛 (特に託児サービスの提供に共感)



## JHAの経営課題を解決する。

FY25：長期戦略、財務基盤、情報開示、人財確保

### 経営企画部

- ・活動報告の充実。情報開示、双方向での情報交換の場づくり  
→ JHA連絡協議会の継続実施、ならびに情報開示の更なる強化
- ・組織改革の検討 →経営と執行の分化によるガバナンスの強化、意思決定の迅速化
- ・表彰制度の再開 →規程類整備、2025年度中の再開
- ・JHA登録の在り方についての検討
- ・地域協会の運営支援 →普及活動やホッケータウン活動、代表チーム事業との連携
- ・関連団体のガバナンス強化サポート →スポーツ庁NFガバナンスコードの遵守
- ・人財の確保と継続性の担保

## 財務総括部

- ・管理会計（予実管理、資金繰り管理）の徹底
- ・稟議申請／経費精算のシステム化
- ・中長期の資金繰りや事業活動に必要な財務計画の策定

## マーケティング部

- ・強固な財政基盤確立にむけた取り組みに引続き注力。特に、中長期視点で価値を共有できるパートナー（スポンサー＆サプライヤー）の開拓
  - (1) パートナーシップ活動 → 継続的なスポンサーアクティベーションの実施
  - (2) 社会共創活動への取り組み → ホッケー競技を活用して頂く
  - (3) デジタルマーケティングの実践 → 外部専門家との連携強化

## 2-2. 2024年度の活動報告

### 強化育成本部

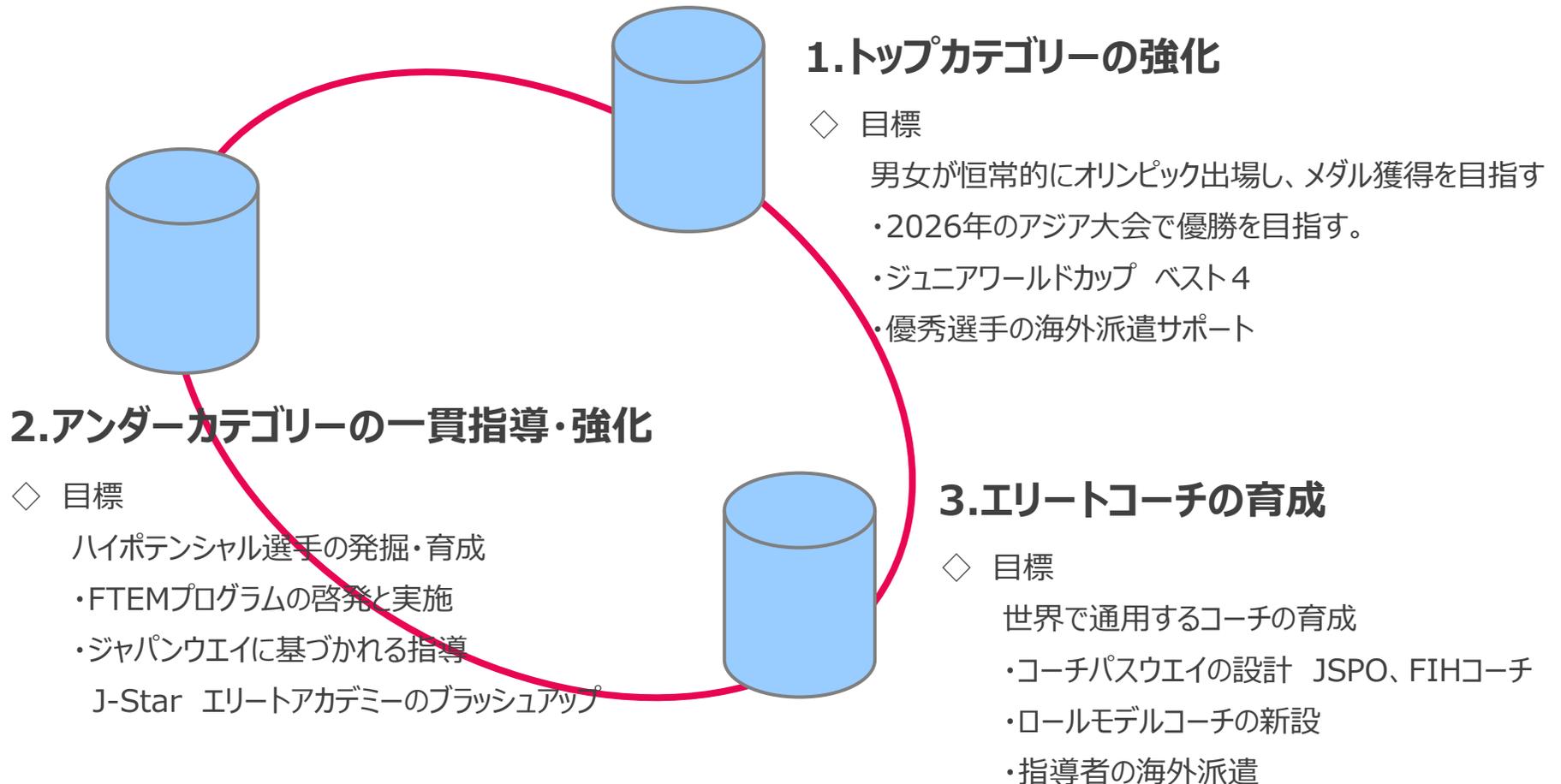
トップカテゴリー強化育成部、アンダーカテゴリー強化育成部、指導者育成部

強化育成本部長 永井祐司



# 強化育成本部 活動方針

## 強化育成の3本柱（選択と集中）ターゲットへの資源集中



# トップカテゴリー強化育成部) シニア、U21代表チーム

## さくらジャパン

- パリオリンピック最終予選 3位  
\* 6大会連続出場
- オセアニア遠征 \* NZ・豪州・中国と対戦
- ネイションズカップ 6位
- オランダテストマッチシリーズ 2戦2敗
- パリオリンピック 10位 (1勝4敗)
- アジアチャンピオンズトロフィ 3位

## U21女子

- ジュニアアジアカップ 4位  
\* 2大会連続出場

## サムライジャパン

- パリオリンピック最終予選 7位  
\* 連続出場ならず
- アズランシャーカップ 優勝
- アジアチャンピオンズトロフィ 3位

## U21男子

- ジュニアアジアカップ 3位  
\* ジュニアWC 4大会ぶり出場
- ジョホールカップ 3位

# さくらJAPAN パリ2024オリンピック

3年間の五輪サイクル期間で強化事業を行った結果、  
2024年1月最終予選で出場権獲得、本大会で12年ぶりの五輪での勝利  
結果：10位 期間：2024年7月28日～8月3日 会場：Yve-du-Manoir Stadium



# さくらJAPAN パリ2024オリンピック

開催国、対フランス戦の勝利、優勝国対オランダ戦で1得点をあげたものの  
上位国との実力の差と最先端のホッケーを体感し、  
世界にうち出ていく為の課題抽出、更なる競技力向上のためのアクションが必要

## グループリーグ順位表・星取表

### グループA

チーム	1	2	3	4	5	6
1 日本	-	● 1:5	● 0:2	● 0:3	● 0:5	○ 1:0
2 オランダ	○ 5:1	-	○ 2:1	○ 3:1	○ 3:0	○ 6:2
3 ドイツ	○ 2:0	● 1:2	-	● 0:2	○ 4:2	○ 5:1
4 ベルギー	○ 3:0	● 1:3	○ 2:0	-	○ 2:1	○ 5:0
5 中国	○ 5:0	● 0:3	● 2:4	● 1:2	-	○ 7:1
6 フランス	● 0:1	● 2:6	● 1:5	● 0:5	● 1:7	-

順位	チーム	試合数	勝	分	負	総 得点	得失 点差	勝点
1	 オランダ	5	5	0	0	19	14	15
2	 ベルギー	5	4	0	1	13	9	12
3	 ドイツ	5	3	0	2	12	5	9
4	 中国	5	2	0	3	15	5	6
5	 日本	5	1	0	4	2	-13	3
6	 フランス	5	0	0	5	4	-20	0

## 最終結果と出場国

	チーム
<b>優勝</b>	 オランダ王国
<b>準決勝</b>	 中国
3位	 アルゼンチン共和国
4位	 ベルギー王国
5位	 オーストラリア連邦
6位	 ドイツ連邦共和国
7位	 スペイン王国
8位	 イギリス
9位	 アメリカ合衆国
10位	 日本
11位	 南アフリカ共和国
12位	 フランス共和国 (ホスト国)

## 1. 拮抗した実力

本大会全38試合中、18試合が1点差もしくは同点という結果

WR8位の中国が銀、同5位のオーストラリアがアルゼンチンとドイツを抑えてプールBを首位通過

## 2. 「ゲームのテンポ」と「プレーのスピード」

選手のフィジカル面の進歩が、攻撃の優位性や強度の高い守備のレベルを引き上げていた

選手の認知能力の高さが個人プレーやチームプレーの精度に繋がり、魅力的な試合を実現

## 3. 戦術の多様化/複雑化

局面ごとに変容するチーム戦術とその高い完成度、選択肢の多さ

そのファンダメンタルとなるプレー原則の徹底と選手達の高い理解力

さくらJAPAN  
テクニカルレポート



## 1. アタッキングプレー

全38試合を通して、サークル侵入数の多さとゴール数の多さは比例している傾向。金メダルのオランダは8試合でサークル侵入は192回に対しゴール数は26得点(13.5%)、銀メダルの中国は167回に対し20得点(12.0%)、9位のアメリカは5試合で61回に対し5得点(8.2%)、日本は56回に対し2得点(3.6%)と全チームの中で一番低い結果となった。サークル内での相手守備を崩し切れず、PC取得に繋ぐチャンスをもものに出来なかった。

## 2. ディフェンスプレー

日本は5試合で撃たれたシュート\*91本に対して15失点(16.5%)と、オランダや中国と比較しても遜色のない数字で、GKを筆頭にDF陣の身体を張った守りがあってこそその結果。しかし、被サークル侵入数は152回で12位のフランスに次いで高い数字であり、相手のプレスやターンオーバーチャンスに対する対策がしっかりと取れていなかった。また、対中国戦では10分間で4失点、対オランダ戦は1Qに3失点と、試合マネジメントも課題であった。

\*フィールドシュートとPCシュートの合計

## 1. 選手層と育成年代の強化

24歳以下の選手数の12チームの平均は5.3人に対し、日本は1人。

アメリカは本大会に7人の24歳以下選手が出場、2024-2025プロリーグで欧州チームは、積極的に2023年 Jr.WC出場選手を登録、中国はシニアとジュニアの一貫体制を模索し始め、更なる国際競技力強化に、次世代の強化は必須。

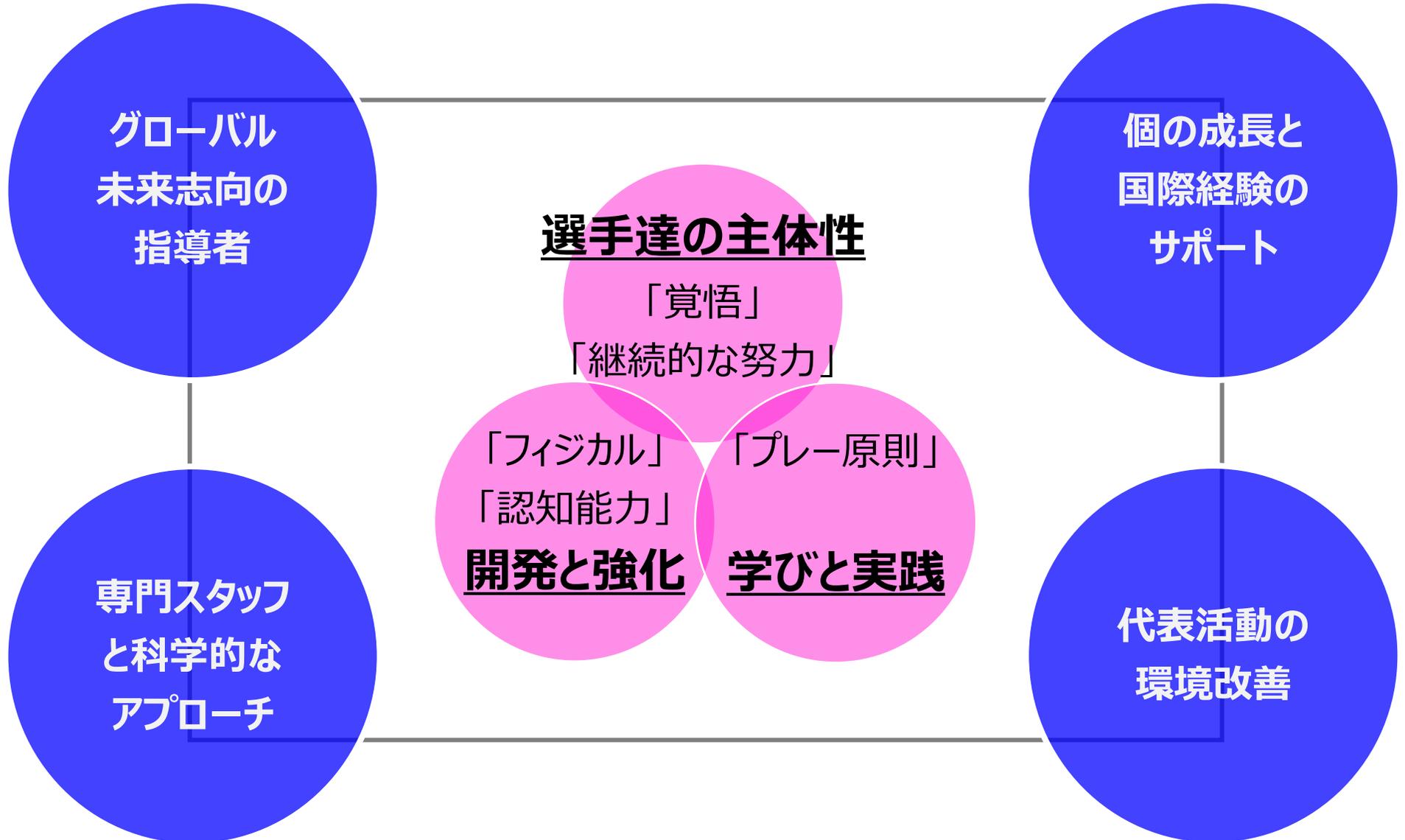
## 2. 強豪国とのフィジカルの差

中国は国際競技力を高めるために攻撃の質を上げることを目標とし、その達成要因としてフィジカル強化を徹底した結果、プロリーグは8位→7位→5位とシーズンごとに上昇させ、アジア大会優勝、パリ五輪銀メダルと着実に結果を残した。他国との差が顕著だったスピード、パワー、スタミナを向上させるためのウェイトトレーニングの他、怪我の予防やパフォーマンスをピーク時に最大限に発揮できるコンディショニング調整も同時に取り組み、365日を意識した身体づくりを目指す。

## 3. ホッケーインテリジェンス

選手達が試合の中で効果的なプレーを実行するための予測力や判断力、決断力といった知的能力「ホッケーインテリジェンス」を向上させるため、ホッケーの原理原則を理解し、自らが考えてプレーを実行する習慣を、代表活動時だけでなく日々の練習の中で身に着けていく。

# さくらJAPAN パリ2024オリンピック 今後のコアバリュー





# さくらジャパン 第8回AHFアジアチャンピオンズトロフィー

本大会がシニアデビューの14名の選手を、社会人選手が献身的にフォロー  
試合ごとにチームが学び成長し、3位入賞を達成

結果：3位 期間：2024年11月11日～20日 会場：Rajgir Hockey Stadium



## 最終結果と出場国

	チーム	世界ランク (大会前)	世界ランク (大会後)
優勝	 インド共和国 (ホスト国)	9位	9位
準優勝	 中国	6位	6位
3位	 日本	11位	11位
4位	 マレーシア	23位	23位
5位	 韓国	15位	15位
6位	 タイ王国	29位	30位

8名の選手が得点に貢献、準決勝の対インド戦では16本のPCを防ぎ3Qまで無失点  
他国は積極的に22歳以下の選手を派遣し、26年アジア大会に向けた強化を本格化

## グループリーグ順位表・星取表

チーム	1	2	3	4	5	6
1 日本	-	● 1:2	● 0:3	△ 2:2	○ 2:1	△ 1:1
2 中国	○ 2:1	-	● 0:3	○ 2:0	○ 5:0	○ 15:0
3 インド	○ 3:0	○ 3:0	-	○ 3:2	○ 4:0	○ 13:0
4 韓国	△ 2:2	● 0:2	● 2:3	-	● 1:2	○ 4:0
5 マレーシア	● 1:2	● 0:5	● 0:4	○ 2:1	-	○ 2:0
6 タイ	△ 1:1	● 0:15	● 0:13	● 0:4	● 0:2	-

順位	チーム	試合数	勝	分	負	総 得点	得失 点差	勝点
1	インド	5	5	0	0	26	24	15
2	中国	5	4	0	1	24	20	12
3	マレーシア	5	2	0	3	5	-7	6
4	日本	5	1	2	2	6	-3	5
5	韓国	5	1	1	3	9	0	4
6	タイ	5	0	1	4	1	-34	1

## 準決勝

No	日時	対戦カード
16	第6日 5位決定戦 11/19 15:15	ラジギール 韓国 WR15位 3-0 タイ WR29位
	第6日 準決勝 11/19 17:45	ラジギール 中国 WR6位 3-1 マレーシア WR23位
18	第6日 準決勝 11/19 20:15	ラジギール 日本 WR11位 0-2 インド WR9位

## 3位決定戦・決勝

19	最終日 3位決定戦 11/20 17:45	ラジギール 日本 WR11位 4-1 マレーシア WR23位
	最終日 決勝戦 11/20 20:15	ラジギール 中国 WR6位 0-1 インド WR9位

## Goalkeeper of the Tournament

工藤 優

# U21女子日本代表 第9回AHFジュニアアジアカップ<sup>o</sup>

“ポジティブ&チャレンジ&成長”をテーマに、23名全員がチーム作りに貢献  
メダルには届かなかったものの、プール戦は無敗無失点で首位通過、Jr.WC出場権獲得

結果：4位 期間：2024年12月7日～15日 会場：オマーン マスカット



## 最終結果と出場国・地域

	チーム	世界ランク
優勝	 インド共和国	8位
準優勝	 中国	18位
3位	 韓国	9位
4位	 日本	11位
5位	 マレーシア	21位
6位	 タイ王国	43位
7位	 中華台北	31位
8位	 中国香港	35位
9位	 バングラデシュ人民共和国	51位
10位	 スリランカ民主社会主義共和国	52位

# U21女子日本代表 第9回AHFジュニアアジアカップ<sup>o</sup>

大会を通して日本は40得点をあげ、インド32点、中国38点を抑えて最多の成績

得点ランキングでは丸山選手が2位、齋藤選手が3位

大会前のコンディショニング調整、戦術理解のための事前合宿の必要性を実感

## グループリーグ順位表・星取表

### グループB

チーム		1	2	3	4	5
1	日本	-	○ 4:0	○ 6:0	○ 13:0	○ 15:0
2	韓国	● 0:4	-	○ 7:2	○ 12:0	○ 10:0
3	中華台北	● 0:6	● 2:7	-	○ 7:0	○ 5:0
4	中国香港	● 0:13	● 0:12	● 0:7	-	○ 2:0
5	スリランカ	● 0:15	● 0:10	● 0:5	● 0:2	-

順位	チーム	試合数	勝	分	負	総得点	得失点差	勝点
1	日本	4	4	0	0	38	38	12
2	韓国	4	3	0	1	29	23	9
3	中華台北	4	2	0	2	14	1	6
4	中国香港	4	1	0	3	2	-30	3
5	スリランカ	4	0	0	4	0	-32	0

## 準決勝

24	第7日 準決勝	マスカット	日本 WR11位	1-3	インド WR8位
	12/14 21:30				
25	第7日 準決勝	マスカット	中国 WR18位	4-1	韓国 WR9位
	12/15 00:00				

## 3位決定戦

28	最終日 3位決定戦	マスカット	日本 WR11位	1-1 so2-3	韓国 WR9位
	12/15 21:30				
29	最終日 決勝戦	マスカット	インド WR8位	1-1 so3-2	中国 WR18位
	12/16 00:00				

# サムライJAPAN 第30回スルタンアズランシャーカップ

パリ五輪世界最終予選から、主力が多く入れ替わった中で、  
穴井HC新体制で挑んだ初の国際大会。  
実力が拮抗するライバル国との接戦をものにして、見事初優勝を飾った。

結果：優勝 期間：2024年5月4日～11日 会場：マレーシア・イポー



## 順位表・星取表

チーム	1	2	3	4	5	6
1 日本	-	○ 4:1	○ 2:1	○ 2:1	△ 1:1	○ 3:1
2 ニュージーランド	● 1:4	-	○ 4:1	● 4:6	△ 1:1	○ 7:1
3 韓国	● 1:2	● 1:4	-	● 0:1	● 0:4	○ 1:0
4 マレーシア	● 1:2	○ 6:4	○ 1:0	-	● 4:5	○ 6:2
5 パキスタン	△ 1:1	△ 1:1	○ 4:0	○ 5:4	-	○ 5:4
6 カナダ	● 1:3	● 1:7	● 0:1	● 2:6	● 4:5	-

順位	チーム	試合数	勝	分	負	総 得点	得失 点差	勝点
1	● 日本	5	4	1	0	12	7	13
2	🇵🇰 パキスタン	5	3	2	0	16	6	11
3	🇲🇾 マレーシア	5	3	0	2	18	5	9
4	🇳🇿 ニュージーランド	5	2	1	2	17	4	7
5	🇰🇷 韓国	5	1	0	4	3	-8	3
6	🇨🇦 カナダ	5	0	0	5	8	-14	0

# サムライJAPAN 第8回AHFアジアチャンピオンズトロフィー

新しい戦術のトライアルをおこない、得点力は向上したものの、DF力に課題が残り  
実力が拮抗するチームとの接戦で敗戦し、グループリーグに苦戦。  
順位決定戦では、ライバルのマレーシアをなんとか撃破し、次につなげた。

結果：5位 期間：2024年9月8日～17日 会場：中国・フルンボイル

## 最終結果と出場国

	チーム	世界ランク (大会前)	世界ランク (大会後)
優勝	 インド共和国	5位	5位
準優勝	 中国 (ホスト国)	23位	23位
3位	 パキスタン・イスラム共和国	16位	15位
4位	 韓国	14位	14位
5位	 日本	15位	16位
6位	 マレーシア	13位	13位

## グループリーグ順位表・星取表

チーム	1	2	3	4	5	6
1 日本	-	● 1:5	● 4:5	△ 5:5	● 1:2	● 0:2
2 インド	○ 5:1	-	○ 8:1	○ 3:1	○ 2:1	○ 3:0
3 マレーシア	○ 5:4	● 1:8	-	△ 3:3	△ 2:2	● 2:4
4 韓国	△ 5:5	● 1:3	△ 3:3	-	△ 2:2	○ 3:2
5 パキスタン	○ 2:1	● 1:2	△ 2:2	△ 2:2	-	○ 5:1
6 中国	○ 2:0	● 0:3	○ 4:2	● 2:3	● 1:5	-



# U21男子日本代表 第12回スルタンジョホールカップ

イングランド、オーストラリア、インドといった世界トップクラスの強豪国も参加。  
 強豪国には敗戦は喫したものの、そこまでの力の差を感じさせず、  
 善戦を繰り広げ、今後につながる戦いを見せた。

結果：5位 期間：2024年10月19日～26日 会場：マレーシア・ジョホールバル

## 最終結果と出場国



	チーム	世界ランク (大会前)	世界ランク (大会後)
優勝	 イギリス		
準優勝	 オーストラリア連邦	8位	8位
3位	 インド共和国	2位	2位
4位	 ニュージーランド	13位	13位
5位	 日本	18位	18位
6位	 マレーシア (ホスト国)	11位	11位

FIH 世界ランキング 10月18日 (大会前) 時点・10月31日 (大会後) 現在  
 ※ 現在のFIH 世界ランキング (Men's (Junior) を選択してください。) [FIH 公式サイト](英語)

# U21男子日本代表 第10回AHFジュニアアジアカップ

ジョホールカップでの成長を糧に、アジア最強のインドとも互角の戦いを行いつつ、ライバルのパキスタンには接戦で敗れ3位。

ジュニアW杯の出場権をしっかりと確保し、世界での飛躍が期待される、

結果：3位 期間：2024年11月26日～12月4日 会場：オマーン・マスカト



## 最終結果と出場国・地域

	チーム	世界ランク
優勝	 インド共和国	2位
準優勝	 パキスタン・イスラム共和国	9位
3位	 日本	18位
4位	 マレーシア	11位
5位	 バングラデシュ人民共和国	21位
6位	 中国	48位
7位	 タイ王国	40位
8位	 韓国	12位
9位	 オマーン国 (ホスト国)	33位
10位	 中華台北	37位

## グループリーグ順位表・星取表

### グループA

チーム		1	2	3	4	5
1	日本	-	● 2:3	○ 2:0	○ 11:0	○ 9:1
2	インド	○ 3:2	-	○ 8:1	○ 16:0	○ 11:0
3	韓国	● 0:2	● 1:8	-	○ 9:6	○ 6:2
4	中華台北	● 0:11	● 0:16	● 6:9	-	● 0:1
5	タイ	● 1:9	● 0:11	● 2:6	○ 1:0	-

順位	チーム	試合数	勝	分	負	総 得点	得失 点差	勝点
1	インド	4	4	0	0	38	35	12
2	日本	4	3	0	1	24	20	9
3	韓国	4	2	0	2	16	-2	6
4	タイ	4	1	0	3	4	-22	3
5	中華台北	4	0	0	4	6	-31	0

## 準決勝

24	第7日 準決勝	マスカット	日本 WR18位	2-4	パキスタン WR9位
	12/3 21:30				
25	第7日 準決勝	マスカット	インド WR2位	3-1	マレーシア WR11位
	12/4 00:00				

## 3位決定戦

28	最終日 3位決定戦	マスカット	日本 WR18位	2-1	マレーシア WR11位
	12/4 21:30				
29	最終日 決勝戦	マスカット	パキスタン WR9位	3-5	インド WR2位
	12/5 00:00				

## アンダーカテゴリー強化育成部) U18、U15代表チーム

### U17女子

- ミルナワンカップ 優勝

### U15女子

- ユースインターナショナル グリフォンカップ 2024  
準優勝 / 11チーム中

### U18男子

- オーストラリア遠征

### U15男子

- ユースインターナショナル グリフォンカップ 2024  
6位 / 12チーム中

# U17女子日本代表 第3回ミルナワンカップ<sup>®</sup>

世界ランキング上位国である、オーストラリア、韓国、南アフリカが参加する中  
4戦全勝 ヤングさくら日本の底力を見せつけた

結果：優勝 期間：2024年11月3日～9日 会場：ブキット・ジャリル国立競技場

## 最終結果と出場国

【得点王】 吉田 来夢  
【MVP】 田中 心那

	チーム
優勝	 日本
準優勝	 オーストラリア連邦
3位	 韓国
4位	 南アフリカ共和国
5位	 マレーシア (SPEEDY) (ホスト国)
6位	 オーストリア共和国
7位	 マレーシア (TIGRESS) (ホスト国)



# U17女子日本代表 第3回ミルナワンカップ<sup>o</sup>

## 順位表・星取表

※ マレーシア A = マレーシア SPEEDY、マレーシア B = マレーシア TIGRESS

グループ A	オーストラリア	韓国	マレーシアA	オーストリア	勝	勝(SO)	負(SO)	負	得点	失点	得失点	ポイント	順位
オーストラリア		5-4	3-3(SO1-2)	2-1	2		1		10	8	2	7	1
韓国	4-5		1-0	0-0 (SO2-3)	1		1	1	5	5	0	4	2
マレーシアA	3-3(SO2-1)	0-1		0-0 (SO1-0)	0	2		1	3	4	-1	4	3
オーストリア	1-2	0-0 (SO3-2)	0-0 (SO0-1)		0	1	1	1	1	2	-1	3	4

グループ B	日本	南アフリカ	マレーシアB	勝	勝(SO)	負(SO)	負	得点	失点	得失点	ポイント	順位
日本		4-2	11-0	2				15	2	13	6	1
南アフリカ	2-4		4-0	1			1	6	4	2	3	2
マレーシアB	0-11	0-4		0			2	0	15	-15	0	3

## 準決勝

22	第4日 準決勝 11/7 19:00	マレーシア	オーストラリア	3-1	南アフリカ
24	第4日 準決勝 11/7 21:00	マレーシア	日本	2-1	韓国

## 決勝戦

31	最終日 決勝戦 11/9 17:00	マレーシア	日本	3-2	オーストラリア
----	--------------------------	-------	----	-----	---------



## U18男子日本代表 オーストラリア遠征

2032年にオリンピックが行われるブリスベンに出向き、クィーズランド州選抜  
U18と強化試合を開催。交流を深めている。

期間：2025年2月4日～14日 会場：オーストラリア、ブリスベン



# U15女子日本代表 ユースインターナショナルグリフォンカップ<sup>o</sup>

U15世代の日本代表チームを恒常的に編成し、ホッケーの技能はもちろんのこと国際人としての経験も積ませるとともに、ホッケー競技に取り組む意識を高めることにより日本ホッケーの国際競技力の向上に寄与することを目指している。大会を終え女子チームの成果と課題は下記の通りである。

- ☆成果☆ ・粘り強いディフェンスが行えた ・PCアタック決定率が高い ・パス重視の戦術理解ができた ・運動量が多く、アジリティーが高い
- ☆課題☆ ・日本とは異なる環境での適応力（食事、環境） ・フィジカル（当たり負け） ・ベーシックスキル（強いパス、レシーブ、動きながらのプレー）

結果：準優勝 期間：2024年11月18日～26日 会場：PERTH HOCKEY STADIUM (AUS)

## 最終結果と出場国 (出場チーム)

	チーム
優勝	 Stars (オーストラリア・ホスト国)
準優勝	 日本
3位	 Malaysian State Sport School - NHDP (マレーシア)
4位	 Highlanders (オーストラリア・ホスト国)
5位	 Mutiara Penang (マレーシア)
6位	 KMSB Waves (オーストラリア・ホスト国)
7位	 Ciriello Coaching Academy (オーストラリア・ホスト国)
8位	 Outbacks (オーストラリア・ホスト国)
9位	 Bobby's Coaching Australia (オーストラリア・ホスト国)
10位	 Suns (オーストラリア・ホスト国)
11位	 JM Aurora Hawks (マレーシア)

## 予選リーグ

順位	チーム	試合数	勝	分	負	総得点	得失点差	勝点
1	 Stars	4	3	1	0	16	15	10
2	 KMSB Waves	4	2	2	0	11	9	8
3	 Mutiara Penang	4	1	2	1	8	2	5
4	 Bobby's Coaching Australia	4	1	1	2	7	-1	4
5	 JM Aurora Hawks	4	0	0	4	0	-25	0

## 決勝

39	最終日 決勝戦	パース	日本	0-0 so1-2	Stars オーストラリア
	11/24 16:30				

# U15男子日本代表 ユースインターナショナルグリフォンカップ<sup>o</sup>

U15世代の日本代表チームを恒常的に編成し、ホッケーの技能はもちろんのこと国際人としての経験も積ませるとともに、ホッケー競技に取り組む意識を高めることにより日本ホッケーの国際競技力の向上に寄与することを目指している。大会を終え男子チームの成果と課題は下記の通りである。

- ☆成果☆ ・選手にプレー原則、プレーモデルの提示し戦術を理解させることができた ・選手に考えさせるホッケーを浸透できた
- ☆課題☆ ・GKスキル ・シュート決定率（PCアタック、FG） ・ベーシックスキル（強いパス、レシーブ、動きながらのプレー）

結果：6位 期間：2024年11月18日～26日 会場：PERTH HOCKEY STADIUM (AUS)



## 最終結果

	チーム	Gr
優勝	 Stars (オーストラリア・ホスト国)	A
準優勝	 MSN Sabah (マレーシア)	B
3位	 Highlanders (オーストラリア・ホスト国)	B
4位	 Bobby's Coaching Australia (オーストラリア・ホスト国)	A
5位	 SSN Predators (マレーシア)	A
6位	 日本	B
7位	 Waves (オーストラリア・ホスト国)	A
8位	 Ciriello Coaching Academy (オーストラリア・ホスト国)	B
9位	 Majulah (シンガポール)	A
10位	 JM Hawks (マレーシア)	A
11位	 Outbacks (オーストラリア・ホスト国)	B
12位	 Suns (オーストラリア・ホスト国)	B

## U18、U15代表選手選考会

U18、U15の代表選考会では、大会や遠征参加メンバー男女各18名を選考することが主たる目的ですが、参加した選手のスキルの向上や同じ志を持つもの同士のコミュニケーションの場にもなっています。また、中央選考会1本による選考から、今年度よりFTEMに位置づけた地区（東・中・西）選考会を経て、中央選考会を行う2段階の選考をおこなっています。



## U18、U15代表選手選考会

U18男子	東地区 (甲府市)	2025年1月24日～26日	50名
	中地区 (天理市)	2025年1月23日～25日	80名
	西地区 (広島市)	2025年1月24日～26日	60名

U18女子	東地区 (日光市)	2025年1月16日～18日	42人
	中地区 (各務原市)	2025年1月4～6日	82人
	西地区 (広島市)	2025年1月24日～26日	64人

⇒2025年3月20日～22日 中央1次選考会 (岐阜) 98名

U15男女 2024年度選考会①  
(宮城県栗原市) 2024年9月14日～16日 男107人、女70人

### 2024年度選考会②

東地区 (日光市)	2024年12月21日～22日	124人
中地区 (米原市)	2024年12月8日	151人
西地区 (松前町)	2024年12月14日～15日	70人

⇒2025年3月20日～22日 中央選考会 (岐阜) 98名

全国から優れた素質を持つU15選手を集め、基本的には年5回の合宿を行う。専門指導者の下、競技力だけでなく、日本代表選手としての心構えや知的能力、トップアスリートとしての人間力の向上も目指し、社会的にも活躍できる選手を育成する。



## JHA エリートアカデミー Mission/Vision/Value

### 〈Mission〉

「オリンピック・ワールドカップでメダルを狙うアスリートの輩出」

「誰もが憧れ、みんなが応援したくなるアスリートの育成」

### 〈Vision〉

#### 〈アスリートの強化〉

- ・ 高い志を持ち、チームの文化や風土を理解し  
実行できるアスリートの育成
- ・ 選手がホッケーを通して人生を豊かにする経験を提供

#### 〈組織の強化〉

- ・ すべてのアスリートが正しい知識と理論に基づいた  
ハイレベルなコーチングを受けられる環境整備
- ・ 選手とスタッフが互いに学び、成長できる組織文化の醸成

### 【Value】

#### 〈アスリートの強化〉

- ・ 競技力向上と人間力向上の両立
- ・ ホッケーの原理原則などの正しい知識の習得
- ・ アスリート同士の信頼関係の構築

#### 〈組織の強化〉

- ・ 真のアスリート・センタード・コーチングの実践
- ・ 地域の指導者や強化育成本部（指導者育成部）との連携強化
- ・ 一貫指導やアスリートパスウェイの整備、構築

**JAPAN SPORT**  
COUNCIL  
日本スポーツ振興センター



将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成  
(タレント発掘・一貫指導育成事業)



# U15エリートアカデミー



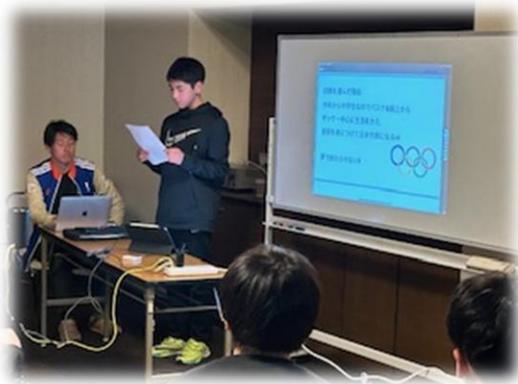
スタッフ挨拶（山梨）



現役さくらJ選手による指導



さくらHCによる指導



アスリートプログラム（3期生）



トレーニング風景（3期生）



トレーニング（ポテンシャルアスリート）

# 指導者育成部(ACD) ACD Camp

## □ ACD CAMP (2022年度～)

事業：JSPO資格（コーチ4・コーチ3）保有者向けオンラインカンファレンス

目的：ホッケーコーチが資格取得後も学習し続け、またコーチ同士のネットワークづくりの場として隔月で実施。

本事業の実施を通じて、以下3点の実現を目指す。

- ①全国のホッケーコーチが、**アスリートセンタードなコーチング**を理解し、実践している
- ②全国のホッケーコーチが、**グローバルスタンダードなコーチング**を理解し、実践している
- ③全国のホッケーコーチが、①・②をふまえた**創造的なコーチング**を実践している

実績：2024年度実績 これまでに計6回実施（のべ約300名が参加）

日時	特集テーマ	日時	特集テーマ
4/24	コーチング研修記 in England	8/27	パリ五輪観戦記
6/26	GKコーチング Part.1	10/23	パリ五輪総括
7/24	GKコーチング Part.2	1/29	FIH Academy 紹介



## 指導者育成部(ACD) JSPO公認コーチ3、4講習

前年に引き続き、JSPOコーチ3、4講習会を開催。受講者及び講師の負担軽減のため、オンラインの併用、3と4を同会場開催にするなど新たな試みにも挑戦しています。

### □ JSPO公認ホッケーコーチ3・4養成講習会の企画・実施

- カリキュラムの見直し、アクティブラーニングの導入促進
- オンラインと対面の併用実施による拘束日数の低減
- コーチ3、コーチ4の同会場・同日開催
- 2024年度開催実績

前期7月（愛知県名古屋市）

後期2月（オンライン+駿河台大学（埼玉県飯能市））

受講者数（コーチ3：60名、コーチ4：8名）



## 指導者育成部(ACD) 海外優秀指導者招聘事業

パリ2024大会で男女金メダルを獲得したオランダ代表のGKコーチによる、世界トップクラスのコーチングセミナーを、国内のGKコーチ養成、レベルアップの為に開催

### □ 海外優秀指導者招聘事業 GKコーチ

事業：海外指導者による指導者向けゴールキーパコーチングクリニック

目的：国内競技力の向上及び、ゴールキーパーの技術向上

会場：OSPホッケースタジアム（滋賀県米原市）

指導者：Simon Zijp（オランダ代表チームGKコーチ、パリ五輪GOLD）

日程：2024年8月27～30日（4日間）

対象：サムライジャパン選手・スタッフ、ほか受講生



## 指導者育成部(ACD) FIHコーチ資格講習会

国内のコーチレベルの引き上げの為、FIHのコーチ資格（2種）の講習会を国内初開催。

FIH Educator2名をオランダ、ベルギーから招聘し、6日間岐阜で実施

### □ 国際ホッケー連盟公認コーチ資格取得講習会の開催

事業：FIH Academy レベル2コース、コーチデベロッパークラス

主催：国際ホッケー連盟、アジアホッケー連盟、日本ホッケー協会

目的：国内のコーチングレベルの向上及び、FIH認定のライセンス取得

会場：川崎重工ホッケースタジアムほか（岐阜県各務原市）

指導者：Siegfried Aikman（オランダ） FIHトレーナー

Michel Kinnen（ベルギー） FIHトレーナー

日程：2024年12月9～14日

参加者：のべ23名



## JOCシンボルアスリート、JOC海外プログラム

### - JOCシンボルアスリート

オリンピック・ムーブメント推進事業およびマーケティング活動を通じスポーツの価値を社会に伝える役割を担うアスリートを選考

### - JOC海外プログラム

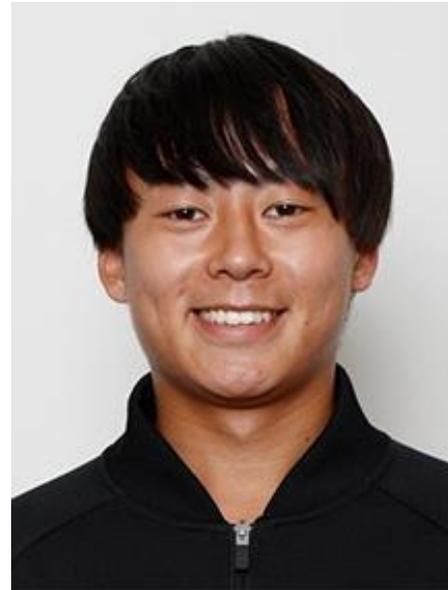
将来の日本スポーツ界を担う選手や指導者を育成するためのプログラム。強化育成本部では積極的に活用すべく、今後も推薦を継続。

#### 上野 真歩（立命館大学）



#### 高出 大暉（ドイツ）

※ スポーツ振興基金助成事業  
（選手・指導者研鑽）



#### 藤本 一平（イギリス）

※ JOCスポーツ指導者  
海外研修事業



## 2025年度 日本代表チームの主な国際大会・事業

### さくらジャパン

- アジアカップ 9月中国杭州 \* WC予選
- ネイションズカップ 未定
- ワールドカップ予選 未定

### U21女子

- ジュニアワールドカップ 12月 チリ

### U18女子

- アジアカップ 7月 中国四川省
- 日韓交流 9月 日本 岐阜
- ミルナワンカップ 10月 マレーシア

### U15女子

- 海外遠征 12月 豪州

### サムライジャパン

- ネイションズカップ 6月 マレーシア K L
- アジアカップ 8月 インドラジギール \* WC予選
- ワールドカップ予選 未定

### U21男子

- ジョホールカップ 10月 マレーシア
- ジュニアワールドカップ 12月 インド

### U18男子

- アジアカップ 7月 中国四川省
- 日韓交流 9月韓国 東海市
- ミルナワンカップ 10月 マレーシア

### U15男子

- 海外遠征 12月 豪州

# 2025年度 アクションプラン

## 1. FTEMスタート元年（スポーツ庁持続可能な国際競技力向上プラン）

- 一貫指導体制の確立と、JSCからの補助金獲得

## 2. 強化組織の整備

- 権限と責任の明確化

## 3. 育成年代の充実

- U24カテゴリーの新設 **\* 2025年度予算化ならず 継続審議**
- U12、U15の強化推進。子どもたちにとって魅力あるホッケー競技の創造

## 4. 国際事業の推進

- トップカテゴリー内での継続的な育成システム

## 5. 強化育成基盤の確立

- ホッケータウンと連携した国内強化合宿
- 人財の拡充とテクノロジーの積極活用



# 2025年度アクションプラン) 1. FTEMスタート元年

## Athlete Development Pathway

# アスリート育成パスウェイ | 種目名：ホッケー



FTEM 段階	Foundation			Talent				Elite			Mastery
	F1	F2	F3	T1	T2	T3	T4	E1	E2	E3	M
FTEM 段階のイメージ											
アスリートがどんな経験をするか	外遊びの経験を通して、敏捷性やしなやかな身のこなしを育む	体験会でホッケーを経験する クラブや部活動に所属し、ホッケーの基礎技術を身につける	チームやクラブに所属し、国内競技大会に参加して、ホッケーを楽しむ	地区選考会を経て、年代別日本代表選手(U12,U15)を目指す 発掘プログラム等で才能を見出され、ホッケーのトレーニングを続ける	JHAエリートアカデミーや年代別日本代表に選出される(U12,U15) 年代別の国際大会等に出場する	年代別日本代表選手に選出される(U17,U18) 年代別国際競技大会で中心選手として活躍する	サムライ・さくらの代表候補選手に選出される 年代別国際競技大会でメダルを獲得する	サムライ・さくらの選手に選出される	サムライ・さくらの中心選手としてオリンピックに出場する	オリンピック、ワールドカップでメダルを獲得する	オリンピック、ワールドカップで複数回、メダルを獲得する
どんなアスリートを目指すか	外で活発に遊ぶのが好きで用具を使う遊びを楽しめることも	ホッケーなどのチームスポーツを経験し、仲間と練習しながら勝利することを喜ぶプレーヤー	ルールや基本的な技術を学び、チームを意識したプレーを実践できるプレーヤー	自主的にトレーニングに取り組みながら、年代別代表選手にチャレンジするアスリート	チームメイトと協力し、社会性や創造性を育みながら、年代別代表選手にチャレンジするアスリート	主体的にトレーニングに取り組み、ホッケーに必要なスキルやフィジカルを身につけ、サムライ・さくらを目指しているアスリート	強いメンタルを身につけ、年代別の国際競技大会を経験しながら、サムライ・さくらを目指しているアスリート	競技に専念しながら日本代表としての自覚を持って、国際競技大会で活躍しているアスリート	サムライ・さくらにおいてリーダーシップを発揮して、中心的な存在として活躍しているアスリート	オリンピック、ワールドカップでメダルを獲得し、国内のアスリートから憧れの存在となるアスリート	世界のロールモデルとして、FIH Player of the yearに選出されるアスリート
どんな人が変えているか	家族、友人、教員	家族、友人、教員 所属チームスタッフ 地方協会(PF)	家族、友人、教員 所属チームスタッフ 地方協会(PF)	家族、友人、教員 所属チームスタッフ JHAアンダーカテゴリースタッフ 地方協会(PF) 地域TID	JHAアンダーカテゴリースタッフ 所属チームスタッフ 地方協会(PF) 地域TID 家族、友人、教員	JHAアンダーカテゴリースタッフ JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 地方協会(PF) 教員	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 日本リーグ機構 国際審判員	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 日本リーグ機構 国際審判員	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 日本リーグ機構 国際審判員 スポンサー	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 国際審判員 スポンサー	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 国際審判員 スポンサー



# 2025年度アクションプラン) 1. FTEMスタート元年

## 育成パスウェイの構築の為、先行的（試験的）にU15代表選考会、EA選考での新たな取り組みを実施

公益社団法人 日本ホッケー協会



### FTEM(アスリートパスウェイ)の推進にあたって

#### FTEM推進会議からの提案

- 推進会議日時 令和7年5月15日 13:00-17:30
- 会場 山梨学院大学
- 参加者(提案者) 寺本 祐治(FTEM推進室長)、馬場 治男(本資料文責)
- アドバイザー 小山 勝弘(山梨学院大学教授/スポーツ科学部学部長/柔道)  
麻場 一徳(山梨学院大学教授/東京五輪強化本部長/陸上競技)

#### ① JHAへの提案・周知・同意形成

- (1) 理事会(5/20)にて総会場で提案することについて確認 《永井本部長》
- ・FTEM構築については2022(R4)年度よりJSCの指導のもと構築作業を始め、昨年度(R6年度)に「パスウェイマップ(コーチ・関係者用)」が仕上がりました。
- ・昨年度、FTEM(コーチ・関係者用)については理事会で承認されています。
- ・JSCからもFTEMアドバンスプログラムを経て内容の承認を得ました。
- ※上記によって、JHA内で周知する手続きが整い総会(6/14)の場で発表します。
- ※最新版\_FTEM (JHA\_コーチ・関係者用) は下表となります。(総会では別紙)

#### Athlete Development Pathway

#### アスリート育成パスウェイ | 種目名: ホッケー

	F1	F2	F3	T1	T2	T3	T4	E1	E2	E3	M
Phase	F	F	F	T	T	T	T	E	E	E	M
Phase	F	F	F	T	T	T	T	E	E	E	M
Phase	F	F	F	T	T	T	T	E	E	E	M
Phase	F	F	F	T	T	T	T	E	E	E	M

(2) 総会(7/4)での議案内容について(一部抜粋)  
(提案者:永井本部長、補正説明:寺本室長)  
①FTEMとは、オーストラリアで開発されたFTEMフレームワークをもとに、及び科学的知見に基づいた「**普及・発展・育成・強化**」を推進するために日本代表選手への育成を目的としたシステムです。  
②日本代表育成本部では、JSCの指導の下、普及・発展・育成・強化のパスウェイマップとしてFTEMの構築に2022(R4)年度より取り組んできました。  
③昨年、JSCが推進するアスリートパスウェイマップを承認し、JSCからJHAへ承認申請し、JSCから承認された「FTEM(コーチ・関係者用)」を構築し、昨年よりFTEM(コーチ・関係者用)の構築に着手してまいりました。  
④今年、このFTEMを推進し、日本代表選手への育成を目的として、普及・発展・育成・強化のパスウェイマップを構築し、JSCから承認申請し、JSCから承認された「FTEM(コーチ・関係者用)」を構築し、昨年よりFTEM(コーチ・関係者用)の構築に着手してまいりました。  
⑤今年、このFTEMを推進し、日本代表選手への育成を目的として、普及・発展・育成・強化のパスウェイマップを構築し、JSCから承認申請し、JSCから承認された「FTEM(コーチ・関係者用)」を構築し、昨年よりFTEM(コーチ・関係者用)の構築に着手してまいりました。  
⑥今年、このFTEMを推進し、日本代表選手への育成を目的として、普及・発展・育成・強化のパスウェイマップを構築し、JSCから承認申請し、JSCから承認された「FTEM(コーチ・関係者用)」を構築し、昨年よりFTEM(コーチ・関係者用)の構築に着手してまいりました。



(3) 発展のシステムについて(案)  
STEP1 各都道府県・エリアコート(コーチ以上)  
→ 各都道府県(県庁)により、将来的に期待されるアスリート育成を目的として、各都道府県にFTEMの構築を推進する。  
STEP2 地区(東・中・西) → 地区ディレクター(コーチ以上)  
→ 各都道府県にFTEMの構築を推進する。  
STEP3 中央・NFコーチ  
→ 各都道府県ディレクターにFTEMの構築を推進する。  
→ トップチーム(チーム)により、FTEMの構築を推進する。  
→ トップチーム(チーム)により、FTEMの構築を推進する。



①FTEMに位置づけられた具体的な数値(案)  
(1) FTEMに位置づけられた具体的な数値(案)  
FTEM(普及・発展)の具体的な数値(案)  
FTEM(育成)の具体的な数値(案)  
FTEM(強化)の具体的な数値(案)

項目	普及	育成	強化	合計
FTEM(普及)	100	50	20	170
FTEM(育成)	50	100	50	200
FTEM(強化)	20	50	100	170
合計	170	200	170	540

(2) キーとなる「目標」は15歳以上のアスリートターゲット  
FTEMでは、将来性期待されるアスリートの育成(育成)を目的として、普及・発展・育成・強化のパスウェイマップを構築し、JSCから承認申請し、JSCから承認された「FTEM(コーチ・関係者用)」を構築し、昨年よりFTEM(コーチ・関係者用)の構築に着手してまいりました。

①【参考】FTEMに位置づけられたU15の数値について(先行的な数値例)  
U15層におけるアスリート育成の強化、育成(育成)を目的として、普及・発展・育成・強化のパスウェイマップを構築し、JSCから承認申請し、JSCから承認された「FTEM(コーチ・関係者用)」を構築し、昨年よりFTEM(コーチ・関係者用)の構築に着手してまいりました。

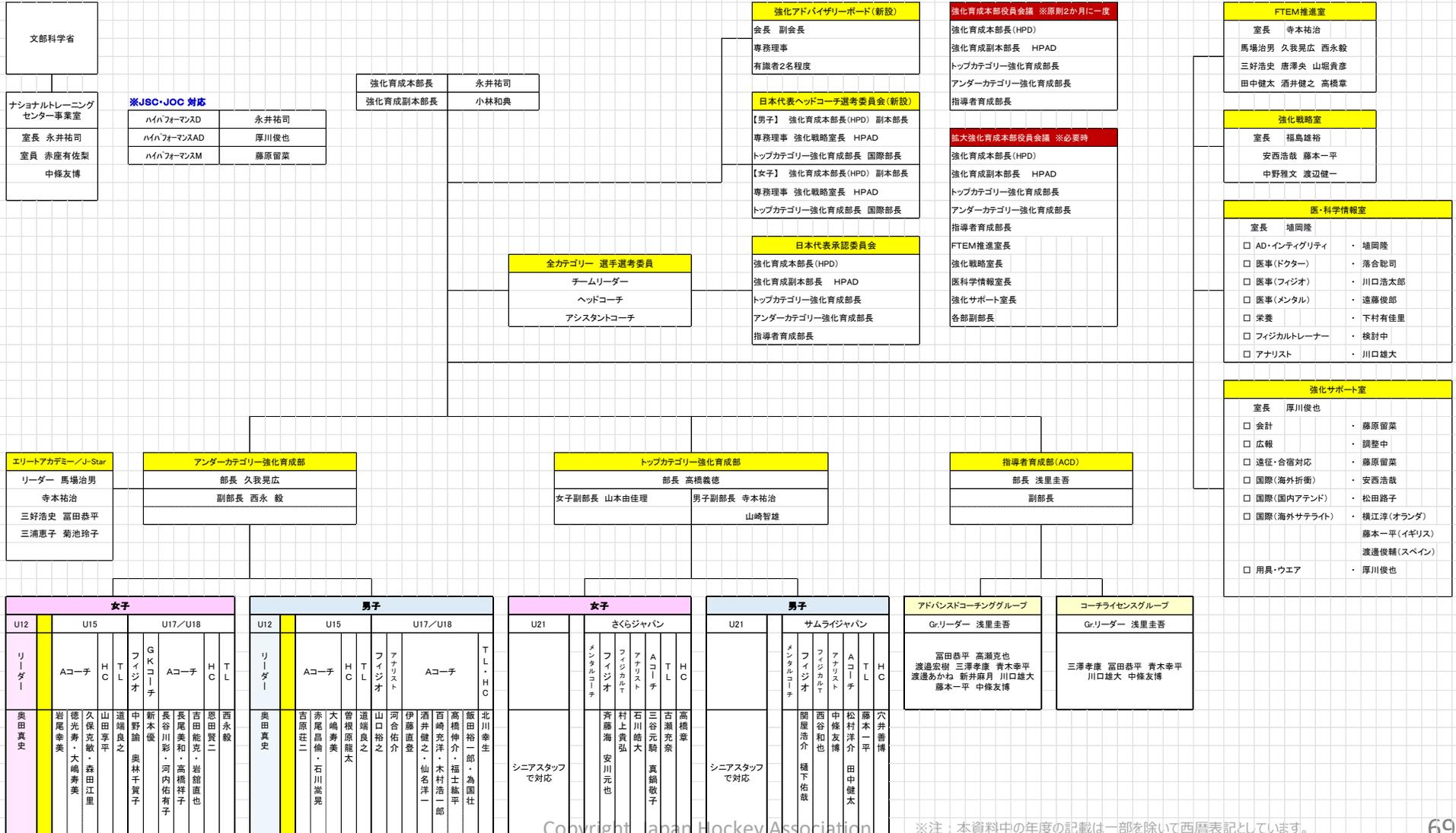


# 2025年度アクションプラン) 2. 強化組織の整備

2025.4.15 現在

## 2025年度 日本ホッケー協会

### 強化育成本部 組織



## 2025年度アクションプラン) 3. 育成年代の充実

### □ U24の創設 (FTEM T4→E1世代の強化)

- ・これまで強化が十分に行われてこなかった、フル代表の次世代を担うU22～U24世代の選手を対象に、新たな強化カテゴリー「U24」を創設する。
- ・この年代は、選手が大きく成長する重要な時期でありながら、国内チームに所属し、各チームで個々に育成されている現状がある。そのため、代表選手以外の若手優秀選手の国際経験が不足し、次の世代となる代表選手としてスムーズな移行が難しく、結果として代表チームの強化が遅れるという課題を克服するため。

### □ U12・15強化推進

- ・2025年度からのFTEM強化システム本格導入に伴い、将来の「さくら・サムライ」育成に向けたU12・U15カテゴリーの普及、強化、競技方法等の現状のシステムを、より効果的なものへと改変する。



## 2025年度アクションプラン) 4. 国際事業の推進

### □ 海外各国との協業プログラム

#### 【ターゲット国】

- アメリカ            2028    ロスアンゼルスオリンピック
- オーストラリア    2032    ブリスベンオリンピック
- インド              2036    インドオリンピック招致活動展開
- 中国・韓国との3か国連携
- マレーシア
- スペイン他（ヨーロッパの拠点とする）

### □ 国際大会・事業の国内誘致・開催

- 各カテゴリー毎にターゲットエイジの強化タイミングで招致を行う  
※収益化事業を目指す

## 2025年度アクションプラン) 5. 強化育成基盤の確立

### □ 国内合宿招致パッケージ

- 期 間           1 週間から10日間程度
- 人 数           30名程度 (スタッフ5名 選手25名)
- 経費負担       滞在費・食費
- 内 容           ・地元チームとの強化試合  
                  ・子供たちへのホッケー教室・体験会  
                  ・地元住民への講演会・交流会 他

- ※ 2025年3月   宮城県築館市   実施
- 2025年5月   富山県小矢部市 実施
- 2025年7月   岩手県岩手町   予定
- 2025年秋以降 鹿児島県薩摩川内市 予定

### □ 環境整備

- 海外優秀指導者の招聘 (GKコーチやドラッグフックコーチ等)
- トレーニング環境の充実
- サポートスタッフの拡充
- スポーツテクノロジーの活用

## 2-3. 2024年度の活動報告

### 事業本部

競技運営部、ホッケーファミリー未来部、ホッケータウン推進部

事業本部長 近藤聡史

ホッケーファミリーの「する」「みる」「ささえる」ができる場を  
新しいチャレンジと共に創造する。

## 各部の活動概要

### 競技運営部

1. 充実した組織運営、他組織との綿密な連携、円滑でスムーズな競技運営、  
競技役員育成：審判員の動員・特に女子審判、若手審判の育成
2. 競技役員派遣と充実した競技運営の指導・協力、また、競技役員資質向上および育成
3. 各種国内大会の競技役員派遣（通年）、全国大会・各ブロック大会において競技役員  
育成と昇格試験の実施（通年）
4. 主要大会（全日本選手権・HJLファイナルステージ）において、ビデオ審判員を配置
5. 全国ルール統一研修会の開催
6. 迅速なアップデート、常に正確で新しいホッケー(ルール)情報発信、国際連盟情報発信の継続

### ホッケーファミリー未来部

- ・夢見るホッケー教室の開催
- ・各都道府県協会様・民間企業様からご依頼の体験教室開催、講師の派遣
- ・全国スポーツ少年団ホッケー交流大会の開催
- ・U12ドリームキャンプ、ブロック選考会の実施
- ・U12オールスター戦の実施

### ホッケータウン推進部

- ・ホッケータウンの認定
- ・既存ホッケータウンの連携強化、情報共有の場づくり

## 国内競技会【主催・共催】

- 主管協会、主管団体のご協力のもと、主催、共催の全国大会を開催
- 大会役員、競技役員の派遣等を通じて充実した競技運営と円滑な大会運営をおこなった



## 2024年度 競技会【主催・共催】実績

全国大会 : 17開催  
国際大会 : 1開催  
(SOMPO JAPAN CUP)

※詳細はJHAのHPをご参照下さい。

### 2024年度 国外・国内競技会 主催・共催計画

大会名	大会回数	期 間	主催協会・連盟	会 場	2024.10.9/時点 主催・共催
社会人女子プレミアカップホッケー	第1回	5月4日(土)～9月29日(日)	各開催地協会	大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ)・川崎重工ホッケースタジアム・コカ・コーラレッドスパークスホッケースタジアム	主催
スルタンアズランシャーカップ	第30回	5月4日(土)～5月11日(土)		マレーシア・イポー	AHF
高円宮杯2024ホッケー日本リーグ(さくらリーグ)	第28回	5月11日(土)～12月22日(日)	ホッケー ジャパンリーグ	経国大学ホッケー場・山梨学院ホッケースタジアム・台合野OKフィールド・コカ・コーラレッドスパークスホッケースタジアム・川崎重工ホッケースタジアム・今治青少年スポーツセンター人工芝競技場・大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ)・静岡市熱山運動公園多目的広場	主催
高円宮杯2024ホッケー日本リーグ(サムライリーグ)	第23回	5月18日(土)～12月21日(土)	ホッケー ジャパンリーグ	経国大学前庭総合運動場・川崎重工ホッケースタジアム・今治青少年スポーツセンター人工芝競技場・OSPホッケースタジアム・山梨学院ホッケースタジアム・阿尾運動公園ホッケー場・台合野OKフィールド・大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ)・静岡市熱山運動公園多目的広場・三谷公園ホッケー場・小笠原ホッケーフィールド・埼玉アクトレイトパーク	主催
ネーションズカップ	第2回	6月3日(月)～6月9日(日)		スペイン・テラサ	FIH
全日本大学ホッケー王座決定戦・東西交流戦	第43回	6月27日(木)～6月30日(日)	東海学連	川崎重工ホッケースタジアム	主催
SOMPO JAPAN CUP		6月30日(日)	実行委員会	大井ホッケー競技場(メインピッチ)	主催
パリ2024オリンピックホッケー競技	第33回	7月27日(土)～8月9日(金)		スタッド・イヴ・ドゥ・マノワール	IOC
全国高等学校ホッケー選手権大会	男子第87回 女子第66回	7月27日(土)～7月31日(水)	長 崎	川瀬大崎自然公園交流広場 佐世保青少年の天地プレイランド 佐世保市総合グラウンド陸上競技場	主催
全日本中学生ホッケー選手権大会	第54回	8月17日(土)～8月19日(月)	富 山	小矢部ホッケーフィールドby三井アウトレットパーク 小矢部市野外運動広場	主催
男子アジアチャンピオンズトロフィー	第8回	9月8日(日)～9月17日(火)		中国 内モンゴル自治区・フルンボイル	AHF
全日本マスターズホッケー大会	第22回	9月14日(土)～9月16日(月)	北海道	滝野野視総合運動公園人工芝ホッケー場	主催
全国スポーツ少年団ホッケー交流大会	第47回	9月14日(土)～9月16日(月)	東 京	大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ)	主催
全日本社会人ホッケー選手権大会	男子第66回 女子第46回	9月21日(土)～9月25日(水)	滋 賀	OSPホッケースタジアム 米原市伊吹第1グラウンド	主催
国民スポーツ大会ホッケー競技	第78回	10月5日(土)～10月9日(水)	佐 賀	伊万里市国見台陸上競技場 伊万里ホッケーフィールド	主催
スルタンジョホールカップ	第12回	10月19日(土)～10月26日(土)		マレーシア・ジョホールバル	MHC
全日本学生ホッケー選手権大会	男子第73回 女子第46回	10月31日(木)～11月4日(月)	関東学連	大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ)	主催
全日本女子ホッケー選手権大会 出場プレーオフ	第2回	11月2日(土)～11月3日(日)	岡 山	赤磐市熊山運動公園多目的広場ホッケー場	主催
マスターズホッケーワールドカップ	第11回	11月7日(木)～11月16日(土)		ニュージーランド・オークランド	WMH
全日本中学生都道府県対抗 11人制ホッケー選手権大会	第25回	11月9日(土)～11月10日(日)	福 井	福井県立ホッケー場 経前町富朝日総合運動場	主催
女子アジアチャンピオンズトロフィー	第8回	11月11日(月)～11月20日(水)		インド・ラジギール	AHF
U21男子ジュニアアジアカップ	第10回	11月26日(火)～12月4日(水)		オマーン・マスカット	AHF
マスターズホッケー JAPAN CUP	第5回	11月30日(土)～12月1日(日)	東 京	大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ)	主催
全日本女子ホッケー選手権大会	第85回	11月29日(金)～12月1日(日) (NHKによるテレビ放映)	岡 山	赤磐市熊山運動公園多目的広場ホッケー場	主催
U21女子ジュニアアジアカップ	第9回	12月7日(土)～12月15日(日)		オマーン・マスカット	AHF
全国高等学校選抜ホッケー大会	第56回	12月21日(土)～12月25日(水)	岐阜高体連	川崎重工ホッケースタジアム 岐阜各務野高等学校ホッケー場	主催
全日本男子ホッケー選手権大会	第98回	12月28日(土)～12月30日(月)	東 京	大井ホッケー競技場(メインピッチ)	主催

## 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会

日程：2024年9月14日～16日

場所：大井ホッケー競技場



## 全日本中学生ホッケー選手権

- 日程 : 2024年8月17日～19日  
 場所 : 小矢部ホッケーフィールドby三井アウトレットパーク 他  
 男子優勝 : 日光市立今市中学校 (6大会ぶり・4回目)  
 女子優勝 : かかみがはらホッケークラブ (初優勝)



優勝・かかみがはらホッケークラブ (初優勝) Photo by 西村 卓



優勝・日光市立今市中学校 (6大会ぶり・4回目) Photo by 西村 卓

## 全国高等学校ホッケー選手権

- 日程 : 2024年7月27日～31日  
場所 : 川棚大崎自然公園交流広場ホッケー場 他  
男子優勝 : 島根県立横田高等学校 (2年振り・8回目)  
女子優勝 : 福井県立丹生高等学校 (3年連続・9回目)



優勝・島根県立横田高等学校 (2年振り・8回目) Photo by 佐藤茂樹



優勝・福井県立丹生高等学校 (3年連続・9回目) Photo by 佐藤茂樹

## 全日本学生ホッケー選手権

2024年  
10月31日～11月4日  
大井ホッケー競技場

女子優勝  
立命館大学  
(連覇・7回目)



男子優勝  
天理大学  
(2年振り・32回目)



## 全日本社会人ホッケー選手権大会

- 日程 : 2024年9月20日～25日  
場所 : OSPホッケースタジアム 他  
男子優勝 : LIEBE 栃木 (連覇・3回目)  
女子優勝 : H・F・C-HANNO (初優勝)



## 全日本マスターズホッケー大会

2024年9月14日～16日  
道立野幌総合運動  
公園ホッケー場



男子 40歳以上の部 優勝 GIFU ASAHI-RED (岐阜県) Photo by 佐藤茂樹



男子 48歳以上の部 優勝 立命館マスターズ 48 (京都府) Photo by 佐藤茂樹



男子 56歳以上の部 優勝 ゴールド FOX (富山県) Photo by 佐藤茂樹



男子 64歳以上の部 優勝 天理マスターズ (和歌山県) Photo by 佐藤茂樹



男子 72歳以上の部 優勝 天理ゴールド (奈良県) Photo by 佐藤茂樹

## 全日本ホッケー選手権大会

- 日程 : 女子 : 2024年11月29日～12月1日 男子 : 2024年12月28～30日  
 場所 : 女子 : 赤磐市熊山運動公園多目的広場 男子 : 大井ホッケー競技場  
 女子優勝 : ソニー HC BRAVIA Ladies (3年ぶり・23回目)  
 男子優勝 : LIEBE 栃木 (2年ぶり・2回目)



全国大会 : 17開催

※詳細はJHAのHPをご参照下さい。

2025年度 国際・国内競技会 主催・共催計画

大会名	大会回数	期 間	主管協会・連盟	会 場	主催・共催
高円宮杯2025ホッケー日本リーグ(さくらリーグ)	第29回	4月19日(土)～10月12日(日)	ホッケー ジャパニリーグ	豊岡市立大学ホッケー場・山形学院ホッケースタジアム・立命館OICフィールド・コカ・コーラレッドスターズホッケー スタジアム・川崎重工ホッケースタジアム・全日本青少年スポーツセンター人工芝競技場・大井ホッケー競技場(メイン ピッチ・サブピッチ)・松前町国体記念ホッケー公園ホッケー場	共催
高円宮杯2025ホッケー日本リーグ(サムライリーグ)	第24回	4月12日(土)～11月30日(日)	ホッケー ジャパニリーグ	徳島市立総合運動場・川崎重工ホッケースタジアム・全日本青少年スポーツセンター人工芝競技場・OSP中 ヶ丘ホッケースタジアム・山形学院ホッケースタジアム・河津運動公園ホッケー場・立命館OICフィールド・大井ホッケー競技 場(メインピッチ・サブピッチ)・豊岡市立大学ホッケー場・三成公園ホッケー場・小矢部ホッケーフィールド by 三井アウ トレットパーク	共催
男子ネーションズカップ	第3回	6月15日(日)～6月21日(土)		マレーシア・クアラルンプール	FIH
男子ユースアジアカップ		7月1日(火)～7月13日(日)		中国・遠州	AHF
女子ユースアジアカップ		7月1日(火)～7月13日(日)		中国・遠州	AHF
全日本大学ホッケー王座決定戦・東西交流戦	第44回	7月10日(木)～7月13日(日)	関西学連	立命館OICフィールド 観里ホッケー場	主催
全国高等学校ホッケー選手権大会	男子第88回 女子第67回	8月2日(土)～8月6日(水)	鳥取	鳥取県立八幡高等学校ホッケー場(W) ヤマタスポーツパーク(天然芝3面)	共催
社会人女子プレミアムカップホッケー	第2回	8月9日(土)～10月19日(日)	各開催地協会	今市青少年スポーツセンター人工芝競技場・コカ・コーラレッドスターズ ホッケースタジアム・大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ)	共催
全日本中学生ホッケー選手権大会	第55回	8月15日(金)～8月18日(月)	同大会実行委員会	男子:綾川町ふれあい運動公園 女子:松前町国体記念ホッケー公園ホッケー場	主催
男子アジアカップ	第12回	8月29日(金)～9月7日(日)		インド	AHF
女子アジアカップ	第11回	9月5日(金)～9月14日(日)		中国・杭州	AHF
全日本社会人ホッケー選手権大会	男子第67回 女子第47回	9月6日(土)～9月10日(水)	青森	三次高等学校グラウンド 六ヶ所村内子内農山村広場多目的広場	主催
全国スポーツ少年団ホッケー交流大会	第48回	9月13日(土)～9月15日(月・祝)	東京	大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ)	共催
全日本マスターズホッケー大会	第23回	9月20日(土)～9月21日(日)	富山	小矢部ホッケーフィールド by 三井アウトレットパーク 小矢部市野外運動広場	主催
国民スポーツ大会ホッケー競技	第79回	10月1日(水)～10月5日(日)	滋賀	OSPホッケースタジアム 米原市伊吹第1グラウンド	共催
全日本学生ホッケー選手権大会	男子第74回 女子第47回	10月30日(木)～11月3日(月・祝)	関東学連	大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ)	主催
全日本中学生都道府県対抗 11人制ホッケー選手権大会	第26回	10月25日(土)～10月26日(日)	同大会実行委員会	坂井県立ホッケー場 越前町常朝日総合運動場	主催
男子スルタン・アズランシャーカップ	第31回	11月		マレーシア	AHF
全日本女子ホッケー選手権大会 出場プレーオフ	第3回	11月	未定		共催
マスターズホッケー JAPAN CUP	第6回	11月29日(土)～11月30日(日)	東京	大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ)	主催
全日本女子ホッケー選手権大会	第86回	11月21日(金)～11月24日(月・祝)	未定		主催
全日本男子ホッケー選手権大会	第99回	(女子:NHKによるテレビ放映)	未定		主催
男子ジュニアワールドカップ	第14回	11月28日(金)～12月10日(水)		インド	FIH
女子ジュニアワールドカップ	第11回	12月1日(月)～12月13日(土)		チリ	FIH
全国高等学校選抜ホッケー大会	第57回	12月19日(金)～12月24日(水)	岐阜高体連	川崎重工ホッケースタジアム 岐阜各務野高等学校ホッケー場	共催

## 競技運営部) 主要大会への競技役員派遣

### 主要大会への競技役員派遣

- JHA主催、共催の全国大会への派遣
- 各ブロック大会へのニュートラル派遣
- HJL大会への派遣
- 強化育成本部と連携し、日本代表の合宿、選考会に審判員を派遣





# 競技運営部) 競技役員登録者数

・2024年度JHA競技役員登録者数 : 1,516名

・2024年度JHA競技役員未登録者数 : 303名

※ 年2回登録期限のお知らせ、またブロック長・都道府県協会へも未登録リストを共有しているが未だ課題

・都道府県別 各階級一覧表 (重複登録者含む)

協会名	A級	B級	C級	D級	UM	T1級	T2級	T3級	T4級	総計	協会名	A級	B級	C級	D級	UM	T1級	T2級	T3級	T4級	総計
北海道ホッケー協会		3		7		2	2	10		24	滋賀県ホッケー協会	2	9	6	12	1	1	4	12	2	49
青森県ホッケー協会			1			1	3	16		21	京都ホッケー協会	3	9	10	26	3	3	3	15	26	98
岩手県ホッケー協会		9	2				3	8	5	27	大阪ホッケー協会	2	9	5	10	4	4	1	15	8	58
宮城県ホッケー協会		6	3	3				18		30	兵庫県ホッケー協会		6	2	24	1		6	28	7	74
秋田県ホッケー協会		2					1	2		5	奈良県ホッケー協会	1	12	3	38		1	3	45	18	121
山形県ホッケー協会	1	4	2	2	1		2	9		21	和歌山県ホッケー協会		4	16			1	2	16	2	41
福島県ホッケー協会		5						13		18	鳥取県ホッケー協会		8	8	1			2	15	4	38
茨城ホッケー協会		5	2	3			1	9	4	24	山根県ホッケー協会	1	2	4	2	1		3	11	9	33
栃木県ホッケー協会	2	9	4	8	1	1	5	12		42	岡山県ホッケー協会		1	5	5	1	1	3	10		26
群馬県ホッケー協会		2	3	18			1	20	2	46	広島県ホッケー協会		6	4	2	2	2	2	13		31
埼玉ホッケー協会	1	5	8	16		2		25	1	58	山口県ホッケー協会		4	2	1			3	13		23
千葉県ホッケー協会	1	3	2	8	1		2	13		30	香川県ホッケー協会		6	14	3	1		2	17	9	52
東京都ホッケー協会	8	11	8	85	3	3	5	27	16	166	徳島県ホッケー協会		5	7	1	1	1	1	12	1	29
神奈川県ホッケー協会	1	1		1			1	3	8	15	愛媛県ホッケー協会		3	8	2			2	18	2	35
山梨県ホッケー協会	2	4	8	13	1	3		30		61	高知県ホッケー協会		2	3	2			1		2	10
長野県ホッケー協会	1	3	1			1	2	9		17	福岡県ホッケー協会		3	3		1	1		5		13
新潟県ホッケー協会		6	5	1			2	13		27	佐賀県ホッケー協会		6	3	1			1	18		29
富山県ホッケー協会	1	6	5	14	2	2	6	17	11	64	長崎県ホッケー協会		4	3				1	17		25
石川県ホッケー協会		5	2					8	1	16	熊本県ホッケー協会		2	1		1	2	1	3		10
福井県ホッケー協会	1	16	7		1	2	3	29		59	大分県ホッケー協会		6	2				1	4		13
静岡県ホッケー協会	1	4	4	4	1		2	8	2	26	宮崎県ホッケー協会	1	1	3	1	2		4	10		22
愛知ホッケー協会		6	4	13	1	1	2	12	6	45	鹿児島県ホッケー協会		5	4	1			4	13	8	35
三重県ホッケー協会		1	1			1	2	9		14	沖縄県ホッケー協会		2	1	2				9		14
岐阜県ホッケー協会	3	7	4	14	5	3	6	21		63	<b>総計</b>	<b>33</b>	<b>238</b>	<b>193</b>	<b>344</b>	<b>36</b>	<b>39</b>	<b>101</b>	<b>660</b>	<b>154</b>	<b>1,798</b>

## 国際大会への派遣

- 国際大会への派遣 派遣一覧表：[2024-2025年度 国際大会競技役員指名リスト](#)
  - FIH/AHF/NFの指名・推薦により、各種国際大会への参加
  - パリ2024オリンピックへ2名の競技役員を派遣
    - ・ 西澤 英一郎 (東京)
    - ・ 山田 恵美 (長野)
  - 国際試合100cap達成
    - ・ 我妻 順子 (埼玉)
  - 男女全日本選手権大会へのオリンピック審判員招致
    - ・ 女子：Aleisha Neuman (AUS)
    - ・ 男子：Steve Rogers (AUS)
- 2024FIH Umpire Of The Year (Men)



国際試合100cap達成  
FIHよりゴールデンホイッスル授与



テクニカルオフィサー 西澤 英一郎  
審判員 山田 恵美



# 競技運営部) 競技役員の育成について (講習会・試験)

## 競技役員の育成について (講習会・試験)

- 各ブロック、連盟開催での講習会開催 (T3/T4/B/C/D)

競技役員に対する資質の向上、資格認定の講習会を実施。

競技運営部認定の講師を派遣し、講習会内容の正確性、統一性を図った。

継続して競技役員の確保に努める

- 2024年度昇格試験合格者数

各ブロック予選・各種全国大会で開催

- ・T 1 : 1名
- ・T 2 : 8名
- ・T 3 : 0名
- ・T 4 : 138名
- ・A級 : 1名
- ・B級 : 24名
- ・C級 : 42名
- ・D級 : 197名



- 審判講習会in女子SOMPO JAPAN CUP

国際大会を活用した国際での活躍を目指す審判員を対象とした審判講習会

## 競技運営部) ルール研修会 2月@大阪

### 2024年度 ルール研修会

- 目的：2025年度の日本ホッケー協会主催・共催大会、ホッケージャパンリーグ、地方大会（予選会を含む）が、スムーズに運営され、ホッケー競技が益々普及・発展していくために、競技規則、競技運営規程の正しい理解とその解釈について統一を図る
- 対象：各ブロック競技長・審判長/各関係団体競技規則・審判担当  
2024年度ホッケージャパンリーグ加盟チーム/A級公認審判員  
TD・ATD・UM(2024年度日本協会主催大会)/強化育成本部男女代表者  
強化本部年代別カテゴリー代表者/競技運営部部員/競技運営部長推薦者
- 日時：2025年2月8日（土）13:00～17:00 ハイブリット開催
- 参加人数：120名



## 国際動向 (情報) の整理・把握の目的

- ✓ プレイヤー・コーチ・オフィシャルの将来的な海外挑戦を射程内に、国際力の向上をアプローチとした人材の「質」向上策強化。
- ✓ FIH World Rankingの上位の常連、世界基準のリーディング国におけるリーグ情報等をタイムリー・体系的に把握。
  - 世界に引けを取らないJHAの「国際性」(最先端の人財・情報・知識)の基盤構築・強化、国際舞台での存在感発揮。

## 整理・把握国 (FIH Pro League参戦中の欧州諸国リーグ) の概観

	オランダ		ドイツ		ベルギー		イングランド		スペイン	
Country										
Ranking	#1	#1	#4	#5	#3	#3	#2	#7	#8	#8
Top Division	Hoofdklasse		Bundesliga		ION Hockey League (Division of Honour)		Premier Division		División de Honor	
Number of Teams	12		12		12		12		12	
Format	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 上位4チームPlay-off進出</li> <li>✓ 最下位自動降格、10・11位はPlay-out戦で昇降格</li> <li>✓ ナショナルリーグ (Landelijk)は3部制               <ul style="list-style-type: none"> <li>・Promotieklasse</li> <li>・Overgangsklasse</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ レギュラーシーズンは前期成績に応じてプール戦 (6×6)</li> <li>✓ Play-offは各プール上位4チームずつによるたすき掛け</li> <li>✓ 各プール下位2チームは下位リーグを経て昇降格へ</li> <li>✓ 下位ディビジョンとの関係性・レイヤー数調査中</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 上位4チームPlay-off進出</li> <li>✓ 下位2チームは自動降格</li> <li>✓ 10位はPlay-out戦にて、昇降格</li> <li>✓ ナショナルリーグは4部 (下位リーグ: Nat.1,2,3)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ シーズン前半(phase1)の成績により上/下位6チームに分かれて後半(Phase1)リーグ戦</li> <li>✓ 上位4チームによりPlay-offリーグ戦(Phase3)</li> <li>✓ ナショナルリーグは3部               <ul style="list-style-type: none"> <li>・Division1 North/South</li> <li>・Conference</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 上位4チームPlay-off進出</li> <li>✓ 最下位は自動降格</li> <li>✓ 11位はPlay-out戦にて昇降格</li> <li>✓ 下位ディビジョンとの関係性・レイヤー数調査中</li> </ul>	
Active Period	9/13～翌5月/6月		9月～5月末		9月～5月末		9月～4月中旬		9月～5月末	

## HF未来部) U12ブロック選考会

8～9月にブロック地区で開催。今年度も350名以上の小学生世代のプレイヤーが参加。ブロック地区で、単に選考を行うだけでなく、各地区の社会人チーム選手のホッケークリニックやブロック単独合宿を開催する等、地域間交流の場となっている。

### U12ホッケーDreamキャンプ2024ブロック選考会結果まとめ

ブロック	開催日時	会場	ブロック選考会参加人数	ブロック選考定数
北海道・東北	2024年9月1日(日)	宮城県栗原市一迫多目的広場	27名	14名
関東	2024年9月23日(月・祝)	日光市市営ホッケー場	50名	17名
東海	2024年9月22日(日)	川崎重工ホッケースタジアム	38名	14名
北信越	2024年9月28日(土)	福井県立ホッケー場	68名	23名
関西	2024年9月7日(土)	グリーンランドみずほホッケーグラウンド	57名	20名
中国・四国	2024年8月31日(土)	広島広域公園ホッケー場	67名	20名
九州	2024年9月21日(土)・22日(日)	樋脇屋外人工芝競技場	48名	12名

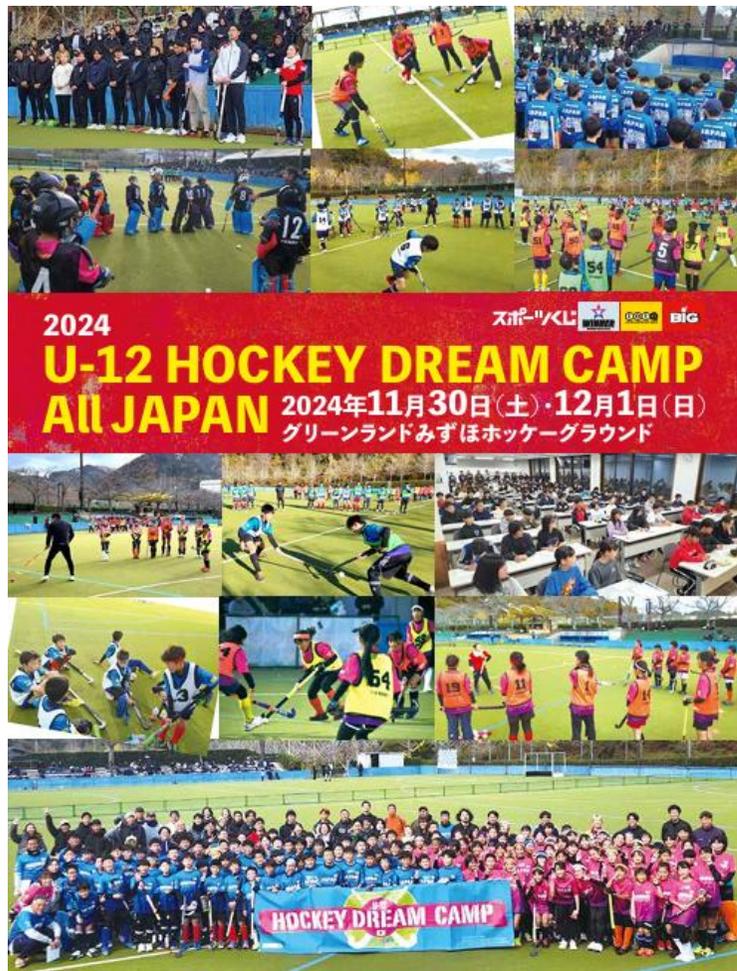
ブロック選考会参加人数 355名(昨年度373名)



# HF未来部) U12ドリームキャンプ 12月@京都瑞穂

11月30日(土)～12月1日(日)にグリーンランドみずほにて開催。

男女合わせて120名の選手が参加



	時間	内容
11月 30日	13時00分	開会 ※会場は午前9時から開放
	13時15分	ウォーミングアップ、フィジカルトレーニング
	14時15分	ホッケースクール
	16時00分	U-12カップ(試合)
	17時30分	試合終了 ※宿泊施設までマイクロバス送迎あり
	18時20分	夕食、入浴 U-12カップ(試合)
	19時40分	研修(トップアスリート研修 講師 永井葉月氏)
	20時30分	就寝準備 20時30分(21時10分まで) 引率責任者・引率者対象、
	21時30分	消灯 指導者講習会 講師:小原直也
	12月 1日	6時10分
6時40分		集合、散歩、体操
7時15分		朝食
8時20分		宿泊施設出発 ※会場までマイクロバス送迎あり
9時00分		ウォーミングアップ、ホッケースクール
10時20分		U-12カップ(試合)
12時30分		閉会式
12時45分		キャンプ終了 ※会場は午後5時まで開放 ※JR園部駅までマイクロバス送迎あり

ホッケースキルの向上だけでなく、  
さくら日本の選手にパリオリンピック  
の様子を聞くなどの研修も開催し、  
「小学生世代の心身の育成」も図る



# HF未来部) U12オールスター戦 3月@東京大井

今年度は2月28日(土)～3月1日(日)に、大井ホッケー競技場にて紅白戦を開催予定。

男女ともに各30名の選手が事前に開催されたドリームキャンプの参加者より選出。(U12日本代表)



2023年度開催時の様子

間	内容	備考
1日午後 12時30分	開会 ※会場は午前11時30分から開放	大井ホッケー競技場
午後 12時45分	ウォーミングアップ 講師 富田恭平氏 ウォーミングアップ ホッケー スクール 13:00～14:00 指導者、保護者対象アンチドーピング研修(メインピッチ内多目的室)	
午後 2時00分	U-12ホッケー オールスター戦(試合)	
午後 5時30分	試合終了 2日目に向けたオリエンテーション。徒歩でゆいっつに移動	
午後 6時30分	ゆいっつに宿泊 夕食、入浴 7時40分から研修(40分)	宿泊先 (ゆいっつ)
午後 8時50分	初日の行程終了 ※終了後、引率責任者、事務局会議を開催予定	
午後 9時30分	消灯	
2日午前 6時30分	起床、散歩、体操	大井ホッケー競技場
午前 7時00分	朝食	
午前 8時00分	ホッケー場に移動(徒歩で移動)	
午前 8時30分	ウォーミングアップ、フィジカルトレーニング	
午前 9時15分	U-12ホッケー オールスター戦(試合)	
午後12時15分	閉会式	
午後12時30分	解散 ※会場は午後13時30分まで開放	

開催期間中、JADA(日本アンチ・ドーピング機構)との連携による保護者・指導者向けのアンチ・ドーピング講習や、選手向けのスポーツ栄養学の研修を開催。

## 夢見るホッケー教室：2024年6月～11月、全国各地

ホッケー競技の普及と競技力向上のため、オリンピックや現役/元日本代表選手よりホッケーの楽しさと魅力を伝えるとともに、あらゆる人々がスポーツを楽しめる機会を提供し地域社会に貢献。

2024年度は全9回（12日程）を計画し、終了。

また、参加者が利用できる託児サービスを併設するなど、新しい試みにも挑戦。



# HF未来部) 夢見るホッケー教室 2024年度開催実績

2025年1月31日現在

開催日		市区町村	開催場所 (予定)	合計 参加者	講師名	託児 サービス
6月	29日	金沢北陵高校女子ホッケー部招待 (生徒20名+指導者2名仮)	大井ホッケー場 (SOMPOJAPANCUP)	17	さくらジャパン 中村 瑛香、浦田 果菜、田中 彩樹、森 花音、小早川 志穂、 長谷川 美優、田中 秋桜、藤林 千子、高島 瑞唯	○
7月	6日	福島県棚倉町	ルネサンス棚倉多目的広場	94	山田 明季、小林 真由美、北里 謙治、山下 学	○
9月	7、8日	茨城県境町	境町ホッケーフィールド	128	永井葉月 及川 某 三谷元騎 渡辺 晃大 新井麻月	○
	14、15日	東京都品川区	大井ホッケー競技場 メインピッチ/サブピッチ (全スポ相手を称えるセレモニー / ホッケー教室)	103	14日 及川 某、千葉 健寛、小野 真由美、山下 彰子、 富田 恭平、北里 謙治、星 希巳加 15日 千葉 健寛、山下 彰子、富田 恭平、永井 友理、藤尾 香織	○
10月	19日	京都府京丹波町	グリーンランドみずほホッケーグラウンド	100	清水 美並、星 希巳加、新井 麻月、吉川 貴史、田中 世蓮	○
11月	2、3日	愛知県	ソシオ成岩スポーツクラブクラブハウス屋上 ウィル大口スポーツクラブ 大口南小学校	59	木村 未由希、海住 なぎさ、山崎 晃嗣、富田 恭平	○
	10日	石川県金沢市	安原スポーツ広場	57	永井 葉月、山下 学	○
	17日	新潟県新潟市	新潟市城山運動公園 多目的広場 新潟市城山運動公園 屋内コート	86	永井 葉月、星 希巳加、松村 洋介、山水 翼瑠	○
	30日	静岡県清水町	清水町総合運動公園 多目的スポーツ広場	88	大場 陽成、山田 明季、瀬川 真帆、山下 彰子	○
2月	22、23日	島根県奥出雲町	三成公園ホッケー場他		※大雪のため延期	×

# HF未来部) 夢見るホッケー教室 2025年度開催予定



**1**  
**2**  
**3**

**憧れのオリンピックや元日本代表が講師！**

**参加費は無料！誰でも参加できます！**

**子どもの運動能力向上をサポートします！**

**未経験者大歓迎**

10/12.13 北海道江別市

10/18.19 山形県川西町

2026/2/22 岐阜県各務原市

2026/1 熊本県小国町

8/30.31 長野県駒ヶ根市

9/27.28 鹿児島県薩摩川内市 (U12ブロック選考会連携企画)

11/ 神奈川県川崎市

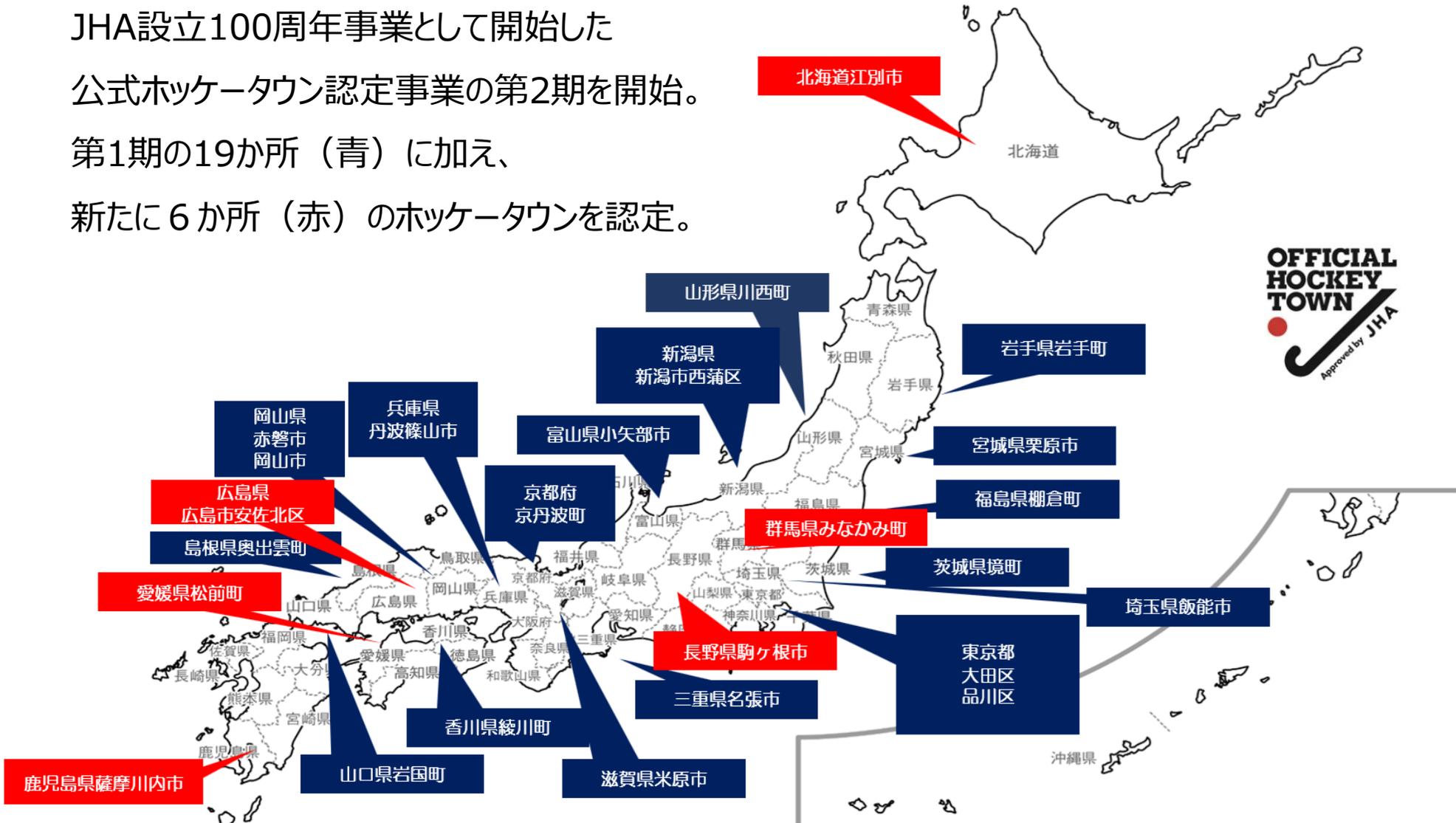
6/28 山梨県南アルプス市

9/13-15 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会



# HT推進部) 第2期公式ホッケータウン認定

JHA設立100周年事業として開始した  
公式ホッケータウン認定事業の第2期を開始。  
第1期の19か所（青）に加え、  
新たに6か所（赤）のホッケータウンを認定。





# HT推進部) 第2期公式ホッケータウン 認定式



群馬県みなかみ町



鹿児島県薩摩川内市



愛媛県松前町



長野県駒ヶ根市



広島市安佐北区



北海道江別市

# HT推進部) 公式ホッケータウンロゴの活用事例

## 大会装飾物



## 入館証



## 名刺



## PR動画



## スタッフキャップ



# HT推進部) 公式ホッケータウン事業の活動

## 2/10 ホッケータウンプレサミットの開催

2023年度、2024年度に認定された25箇所のホッケータウンが集まり、初めての会議を開催。来年度以降に開催予定の本格的ホッケータウンサミットに向け始動。今後も自治体様と連携し、ホッケーをコンテンツにまちの活性化に寄与できる活動を目指す。



2024年2月19日に開催された100周年記念式典にお集まりいただいたホッケータウンの首長のみなさま

数々のメディアにも掲載



令和5年11月29日(水)茨城新聞



## 2-4. 2024年度の活動報告

### コーポレート本部

広報部、国際部、法務・コンプライアンス推進部

コーポレート本部長 安西浩哉



JHAおよびホッケーの社会的信用と存在価値を高め、  
協会運営の基盤づくりに貢献する。

### 各部の活動概要

#### 広報部

- JHAメディア（HP、YouTube、ライブ配信、SNS、イヤーズブック）の運用  
→迅速なアップデート、常に正確で新しいホッケー情報発信の継続
- PR促進、在京メディアを中心としたメディアとの関係強化

#### 国際部

- FIH、AHFとの連携強化（理事としての参画）による、世界における日本ホッケーの存在価値向上
- 代表チームの活動を支援する、NFネットワークや現地協力者との体制づくり
- 将来を見据えた国際人財の育成

## 法務・コンプライアンス推進部

健全な協会運営と環境づくりに寄与し、対外的な信用を高め、協会やホッケーの価値向上に資する

1. 契約書類の確認・作成、訴訟対応、その他各部門からの法務案件について  
相談体制を整備し、法務リスクを発見・軽減
2. 法令等遵守を前提に、実情に適応した協会内各種規程等を整備
3. ホッケー協会内や関連団体へコンプライアンスの周知徹底を行う取り組みを推進

## 広報部) JHA HPの運営、動画配信

### JHA 公式サイト

迅速なアップデートと、常に正確で新しいホッケー情報発信の継続による「速報性」と「確実性」のある情報のアーカイブ

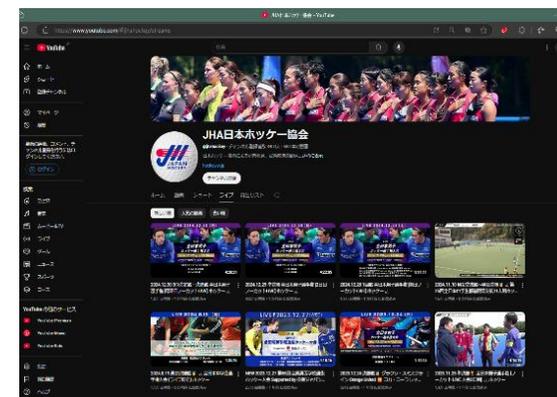
- 日本協会の運営に関する情報の提供
- 国外・国外競技会や行事開催に関する情報の提供
- ホッケー日本代表の活動や戦績等の情報の提供



### 動画配信

会場に来れない人や、もう一度試合を観たい人に届ける「試合観戦機会」とホッケー・スキルの向上やトレーニングのヒントに繋がる「楽しいコンテンツ」の配信

- JHA公式YouTubeチャンネル登録者数 8400人
- 2024年配信数約30本、ライブ配信 5本など



## 最新情報の提供とファン（ホッケーファミリー）との交流の場の常時開設

- ホッケーファミリー拡大と協会の事業に絡めた共通タグの活用を強化
  - 「#つながろうホッケーファミリー」
  - 「#ここではホッケーがメジャースポーツだ」 など
- さくらジャパンのPRを、「チームとしての露出<個々の選手としての露出」へ
  - 選手のプロフィールや素顔が見える記事やリール動画の連続投稿など
- コンテンツ制作協力者、情報提供者の拡大
  - アンダーカテゴリーの代表チームの海外大会の様子や試合のライブ配信情報に関する告知の機会を増強（大会帯同スタッフとの協働）
  - 大会観戦者からの応援メッセージ動画を多数投稿（アスリート委員会と協働）
  - ラブライブとのコラボ企画やホッケー公式アンバサダー、インフルエンサーにも絡めた記事の投稿





## 1. 国際ホッケー連盟 (FIH)

### (1) 理事会

第1回	1月28日	@オマーン・マスカット市	出席者：安西
第2回	6月17日	Online	出席者：同上
第3回	8月 6日	@フランス・コロンブ市	出席者：同上
第4回	11月 9日	@オマーン・マスカット市	出席者：同上
第5回	3月16～17日	@スイス・ローザンヌ市	出席者：同上

### (2) 総会

11月9日～10日	@オマーン・マスカット市	出席者：三須、多氣、安西、近藤
-----------	--------------	-----------------

## 2. アジアホッケー連盟 (AHF)

### (1) 理事会

11月7日	@オマーン・マスカット市	出席者：安西、近藤
-------	--------------	-----------

### (2) 総会

11月7日	@オマーン・マスカット市	出席者：三須、多氣、安西、近藤
-------	--------------	-----------------

# 国際部) FIH創立100周年式典、FIH総会、AHF総会 @オマーン



## 海外在住のホッケー関係者との情報交換ミーティングの実施

1. 開催日時 : 2024年10月13日 (日)

2. 出席者 : 6カ国 / 8名参加

### 参加者所属先

- 英国 : Surbin HC
- ドイツ : Dusseldorfer HC・ Uhlenhorst Mulheim
- ベルギー : Royal Omarage HC
- スペイン : FC Balcelona
- オランダ : AC&BC
- オーストラリア : Wasps hockey
- JHA : 強化育成本部 (高橋章、厚川俊也、安西浩哉)

### 3. 内容

- (1) 日本のホッケーの現状と各国のホッケー事情の共有
- (2) 今後海外でプレーを希望する選手に対するサポート・課題 \* 今後継続実施予定

## 1. 趣旨

令和6年度 JOC国際人養成アカデミー(JISLA) 開催要項

- 本アカデミーは、国内スポーツ組織が国際スポーツ組織との関係を強化することへの支援を目的にした人材の国際力向上を図る人材育成事業  
本事業を通じて、所属する国内スポーツ組織を代表して国際スポーツ組織等の政策決定過程に関与できる人材、国際的な折衝において活躍できる人材、あるいは国際連携・貢献を実践できる人材の育成を目指す

## 2. 事業名・事業者

JOC 国際人養成アカデミー(JOC International Sports Leader Academy / JISLA)  
公益財団法人 日本オリンピック委員会

## 3. 後援

スポーツ庁

## 4. 受講者

本会加盟団体から推薦される下記の者

- 将来、所属団体を代表して IOC、OCA、IF/AF 等の国際スポーツ組織における役員や専門委員会委員(審判、競技ルール、医事、コーチング、マーケティング等)、事務局員または国際競技大会のディレクター等に就任し、その団体や組織の政策決定過程に関わることを目指す具体的な計画がある者
- あるいはそれを目指して研鑽を積むことができる者。所属組織の国際化を推進する、あるいは所属組織を代表して国際スポーツ組織における役員や専門委員会委員への就任候補者を、様々に支援する国際担当者

## 5. 期間

令和6年5月24日(金) ~ 12月8日(日)

- 全8週 (期間中の金・土・日)
- 修了者を対象にフォローアップ研修を3月に開催

## カリキュラムとその狙い

### [A] スポーツリーダーとして持つべき基礎知識 (8コマ)

- スポーツリーダーに不可欠な、スポーツ/スポーツ組織に関する基礎知識を学ぶ
  - ・ 組織経営、マーケティング・ジェンダーエクイティ・SDG's

### [B] 国際スポーツ界で活躍するために持つべき知識・スキル (10コマ)

- 国際戦略を立てる上で不可欠な、国際スポーツ/スポーツ組織に関する知見を学ぶ
  - ・ 国際スポーツ組織・IF、AF における選挙・国際スポーツ分野におけるキャリア

### [C] グローバルマインドセット (6コマ)

- 国際的な交流を持つ上でベースとなる、異文化や多様性を理解・受容するマインドを醸成する
  - ・ 異文化理解力・マナー/プロトコール・世界の宗教

### [D] 国際スポーツリーダーの本質的条件となる考え方や意識 (16コマ)

- 国際スポーツリーダーに必要な思考法、意識、行動特性、スキルについてアクティブに学ぶ・論理的思考
  - ・ 戦略的思考・組織行動とリーダーシップ・提案の技術

### [E] 国際コミュニケーション演習 (42コマ)

- 国際スポーツの現場で必要となるコミュニケーション方法について、英語にてアクティブに学ぶ・アサーティブコミュニケーション・プレゼンテーション・ネゴシエーション

### [F] アセスメント (修了試験)

- 講義への参加姿勢、受講レポート、講義に関連する課題を評価すると共に口頭試問を実施。  
Eの講義は授業全体を通して評価し、英文レポート点等を加える。それらの合計点にて修了判定を行う。

## 「スポーツ団体ガバナンスコードに関するワークショップ」への参加

スポーツ庁主催

日時：令和6年11月27日（水）14:00～16:00

場所：JSOS14階 岸清一メモリアルホール

プログラム内容：

・スポーツ団体ガバナンスコード原則13（地方組織等に対するガバナンスの確保、コンプライアンスの強化等に係る指導、助言、支援を行うべきである）に関して、

1. 日本ラグビー協会・齋藤守弘氏による講演＋質疑応答

2. 4-5人ずつのグループに分かれて、グループミーティング

――課題や事例の横展開、計画の実施に向けたディスカッションを実施

## シンポジウム参加

### 「部活動の地域展開の現状～現場の法的課題を探る～」

主催：関東弁護士連合会

日時：令和7年2月26日（水）

後援：公益財団法人日本スポーツ協会

内容：

- 学校部活動の地域展開の現状と法的課題について考える

関東弁護士連合会シンポジウム



部活動の地域展開の現状  
～現場の法的課題を探る～

現在、我が国では、公立中学校を主な対象として、学校部活動を地域クラブ活動へ転換あるいは学校部活動における部活動指導員等の配置や合同部活動等の実施（学校部活動の地域展開等）に向けた改革が進められています。文部科学省では、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」（令和4年12月スポーツ庁・文化庁）を策定し、各地域で実証事業に取り組みながら地域展開等の実施における課題や対応策が議論されていますが、現場の方々のお話を伺う限り、法的課題の抽出や分析は十分に行われていないと感じています。この問題に関して、長野県において部活動改革の中核的な役割を担う総括コーディネーターを務める吉田勝光氏（桐蔭横浜大学名誉教授）、掛川市において地域展開に取り組んでいる同市教育委員会の大原基彰氏、学校部活動の地域展開における受け皿となりうる総合型SCを運営する一般社団法人ヴァンフォーレススポーツクラブの代表理事・長田圭介氏をお招きし、現場の実状をお話いただきます。学校部活動の地域展開の現状と法的課題について、一緒に考えていきましょう。

日時：令和7年2月26日（水）18:00～19:30  
定員：500名（先着順・参加費無料）  
開催方法：Zoomウェビナー

申し込み方法：下記URL、または二次元コードから2月21日（金）までにお申し込みください。シンポジウムの接続URLが登録メールアドレスに届きます。  
[https://us06web.zoom.us/join/register?tn=K6TuwRwSzihMV2\\_7SC4w](https://us06web.zoom.us/join/register?tn=K6TuwRwSzihMV2_7SC4w)



※申込状況によっては、申込締切前に募集を締め切る場合がございます。お早めにお申し込みください。申し込み状況により、内容が変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。



【個人情報の取扱いについて】  
ご参加いただいた個人情報は、関東弁護士連合会において厳密に管理し、本シンポジウムに関する業務にのみ利用します。

【主催】関東弁護士連合会  
【後援】公益財団法人日本スポーツ協会  
【お問い合わせ】03-3581-3838（代表）  
（関東弁護士連合会スポーツロイヤー養成PT事務局）  
※ 関東弁護士連合会は、東京高等裁判所管内にある13の弁護士会の連合組織です。

## 令和6年度コンプライアンス委員会

第1回 : 7月18日

( 参加者 : 三須、北野、多氣、箸本 )

第2回 : 12月17日

( 参加者 : 三須、北野、多氣、奥田、箸本 )

第3回 : 1月30日

( 参加者 : 三須、北野、多氣、奥田、箸本 )

## 広報部

1. JHA-HPの運営 : 迅速なアップデート、常に正確で新しいホッケー情報発信の継続
2. 動画/JHA-YouTube : 大会のLIVE配信の推進と持続可能な動画撮影体制の構築
3. 代表チームの活動情報を伝えるPR発信、在京メディアを中心としたメディアとの関係強化
4. イヤーブックの発行

## 国際部

1. FIH・AHFとの連携を密にし、世界におけるJHAの存在価値の向上
2. FIH・AHF会議への参加（理事としての活動）
3. 代表チームの強化に資する国際NFネットワーク構築や現地協力者とのリレーション
4. 国際分野で活躍する人財の育成

## 法務・コンプライアンス推進部

健全な協会運営と環境づくりに寄与し、対外的な信用を高め、協会やホッケーの価値向上に資する

1. 契約書類の確認・作成、訴訟対応、その他各部門からの法務案件について  
相談体制を整備し、法務リスクを発見・軽減
2. 法令等遵守を前提に、実情に適応した協会内各種規程等を整備
3. ホッケー協会内や関連団体へコンプライアンスの周知徹底を行う取り組みを推進

## 2-5. 2024年度の活動報告

### 専門委員会

アンチ・ドーピング/インテグリティ委員会、アスリート委員会、社会共創委員会

専務理事 多氣洋平



社会の一員として果たすべき役割や責任を明確にし、  
その啓発および発展性のあるテーマの深堀を行う

## 各委員会の活動概要

### AD（アンチ・ドーピング）・インテグリティ委員会

- JADA（日本アンチドーピング機構）が実施する検査、教育等に関する事項および JOC（日本オリンピック委員会）が実施するインテグリティ教育事業に関わる事項を管理し、各事業を円滑に進める
  1. AD並びにインテグリティ教育活動の実施とさらなる充実
  2. 国内競技会でのドーピング検査の準備および違反事案の結果管理、JADAとの連携

### アスリート委員会

- アスリート目線でのホッケーの認知向上と普及、競技継続における課題の明確化
- 世代横断的にアスリートをサポートし、ニーズを集約
- LGBTQやジェンダーギャップ、スポーツメンタル等各種研修の開催
- ホッケークリニックの定期開催

## 社会共創委員会

- ホッケーと社会双方がWin-Winとなる持続可能な取組みの開発
- SDGs軸でのホッケーの社会貢献。関連団体との連携
  1. ホッケーを育ててくれた町との共創事業である、公式ホッケータウン認定事業の深化
  2. FIH/AHF植樹プログラム“Give back to forest”への賛同

# AD・インテグリティ委員会) 「PLAY TRUE」キャンペーン

PLAY TRUEの寄せ書きは、JHAの承認EducatorによるAD研修会の際に作成され、JADAクリーンスポーツ・アスリートサイトで「さくらチーム・パリ出発」の写真が紹介された

2024.07.26

日本からパリにFAIR PRIDEの想いを届け、パリオリンピック・パラリンピック競技大会がクリーンでフェアな大会になることを応援しよう！



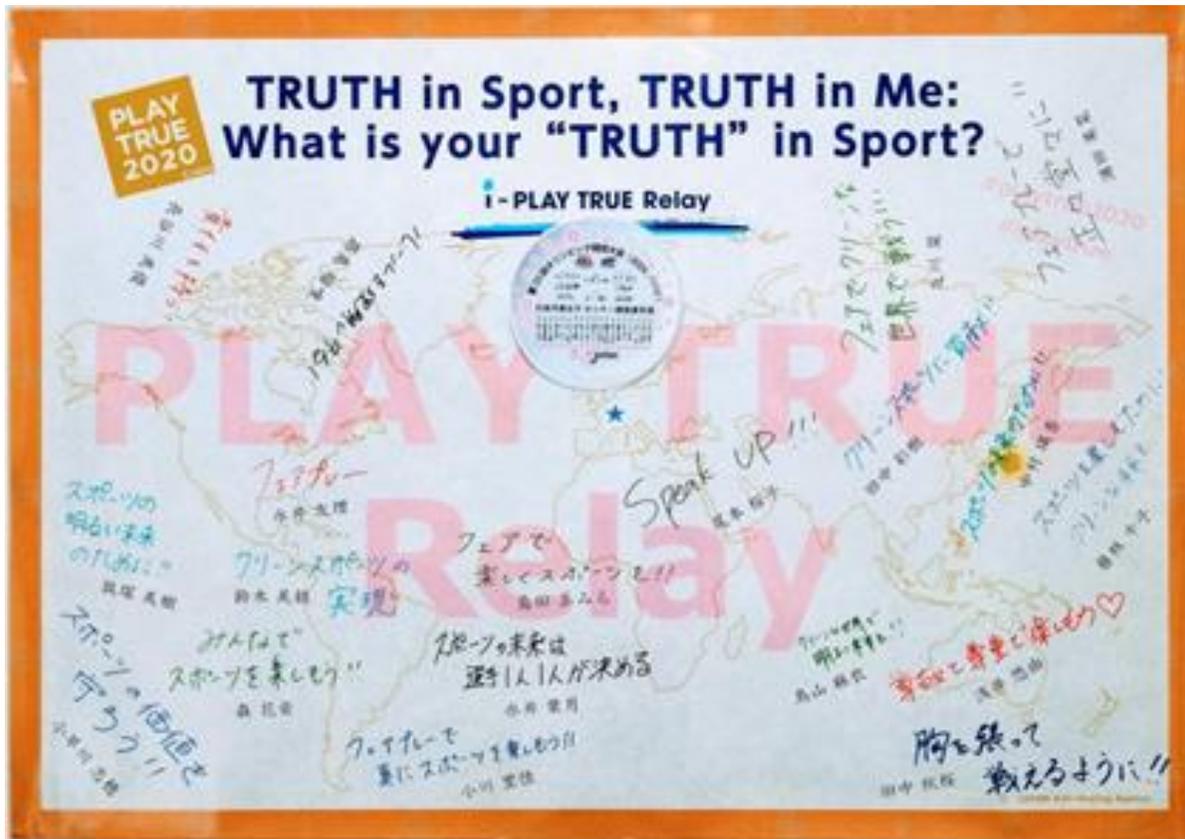
本日よりパリオリンピック大会、8/28からパリパラリンピック大会が開幕します！

「あなたの想うリアルチャンピオンとは？」



# AD・インテグリティ委員会) 「PLAY TRUE」キャンペーン

さくらJAPANのPLAY TRUEの寄せ書きには選手名が追加されており、  
各県における大会の代表者会議や大会本部で掲示された



## AD・インテグリティ委員会) AD/インテグリティの啓蒙活動

AD・インテグリティ啓発活動を観客、選手・スタッフ、大会役員に向けに実施。  
また、育成カテゴリーのU12選手とその保護者・引率者にも研修を実施。



# AD・インテグリティ委員会) JADA承認エデュケーター

JHAから3名が、JADAより「承認Educator」の承認を受ける。  
 今後、承認Educatorはアンチ・ドーピング教育の対面研修担当

**承認 Educator 承認証**

**埴岡 隆** 2024 年度

TAKASHI HANIOKA

公益社団法人日本ホッケー協会

JADAが指定する承認のためのeラーニング及び承認研修を受講し、  
 JADAにより承認を受けたことを証明する

承認証有効期限 2025年7月5日  
 (Certification valid until 05/07/2025)

Certification of "Certified Educator"

**承認 Educator 承認証**

**小野 真由美** 2024 年度

MAYUMI ONO

公益社団法人日本ホッケー協会

JADAが指定する承認のためのeラーニング及び承認研修を受講し、  
 JADAにより承認を受けたことを証明する

承認証有効期限 2025年8月2日  
 (Certification valid until 02/08/2025)

Certification of "Certified Educator"

**承認 Educator 承認証**

**喜久生 健太** 2024 年度

KENTA KIKUIKE

公益社団法人日本ホッケー協会

JADAが指定する承認のためのeラーニング及び承認研修を受講し、  
 JADAにより承認を受けたことを証明する

承認証有効期限 2025年7月5日  
 (Certification valid until 05/07/2025)

Certification of "Certified Educator"

- 承認 Educator として、JADA の承認 Educator 規程を遵守すること
- 本証を、他人へ貸与、譲渡、または WEB 掲載等を行わないこと
- 本証に記載の承認期間のみ、承認資格は有効である
- 承認 Educator 誓約書に違反したと JADA が判断し承認が取り消された場合、本証は無効となる

公益社団法人 日本アンチドーピング機構 JADA  
 Japan Anti-Doping Agency

- 承認 Educator として、JADA の承認 Educator 規程を遵守すること
- 本証を、他人へ貸与、譲渡、または WEB 掲載等を行わないこと
- 本証に記載の承認期間のみ、承認資格は有効である
- 承認 Educator 誓約書に違反したと JADA が判断し承認が取り消された場合、本証は無効となる

公益社団法人 日本アンチドーピング機構 JADA  
 Japan Anti-Doping Agency

- 承認 Educator として、JADA の承認 Educator 規程を遵守すること
- 本証を、他人へ貸与、譲渡、または WEB 掲載等を行わないこと
- 本証に記載の承認期間のみ、承認資格は有効である
- 承認 Educator 誓約書に違反したと JADA が判断し承認が取り消された場合、本証は無効となる

公益社団法人 日本アンチドーピング機構 JADA  
 Japan Anti-Doping Agency

## アスリート委員会) LGBTQ研修の開催

### 3月20日(JSOS会議室)LGBTQ研修をハイブリットで開催

#### 《 開催の目的 》

アスリート・指導者向けの本研修は、多様な背景を持つ選手が安心して競技に取り組む環境を整えることを目的に開催。すべての選手が自分らしく競技に取り組むことができる環境が生まれるだけでなく、競技力の向上とスポーツ全体の健全な発展に寄与する。  
(講師/当事者：松中様、杉山様)



## アスリート委員会) 指導者向けホッケークリニックの開催

### 7月27日（大井ホッケー場）指導者向けのホッケークリニックを開催

#### 《 開催の目的 》

特に関東では、OB/OGの皆さんが大学・高校の生徒をを指導している傾向が高く、指導者の方から、指導における悩み等あるとの声が多くあった。そこで実践的な練習メニューや基本スキルのレクチャーを約15名（有志）の方へ指導力向上のサポートを行った。（講師：小野）



## 8月17日 (大井ホッケー場管理棟会議室 AED・熱中症予防講習会を開催 )

### 《 開催の目的 》

競技中の急な怪我や熱中症に備え、AEDの使用方法や熱中症予防の知識を深めることを目的とする。  
いざという時に冷静に対応できるよう、実習練習も加えて実施。(講師 救急医：本間先生)



- SOMPO JAPAN CUP応援動画制作 Instagram投稿
- パリオリンピック出場選手へ応援メッセージ活動
- JOCアスリートフォーラム参加
- ホッケー選手とインスタライブの定期開催
- オリンピアンによるホッケー教室&大会 (3月開催予定)



((●))

ライブ配信のお知らせ

2024 **12.19** Thu.  
21:00-21:45



アスリート委員会  
小野真由美

SNOWFLAKE Ladies  
永井友理選手

ホッケーへの想いや、  
キャプテンシー、苦悩、  
プライベートなことまで♡



- 2024年6月30日に実施されたSOMPO JAPAN CUPに、石川県唯一の高校ホッケーチームである金沢北陵高校の生徒を招待し、さくらジャパンメンバーとの交流とホッケークリニックを実施
- また、会場で行われた募金や協賛金・入場料などを原資として石川県ホッケー協会に義援金を贈呈

日本代表選手によるホッケークリニック



高円宮妃殿下下からのお声かけ



試合会場入場時のエスコートガール



さくらジャパンの選手と共に募金活動



# 社会共創委員会) 内モンゴルでの植樹 9月ACT参加時

FIHが世界規模で展開する植樹プロジェクト「GIVE BACK TO FOREST」に賛同し、AHFとの協働で、サムライJの国際大会参加時に内モンゴルで選手による植樹を実施



## GIVE BACK TO FOREST



Dated: 20 July 2024

Join Us In Celebrating "Give Back to Forest" on 1st August 2024!

**Dear Esteemed Members of the Asian Hockey Federation,**  
We are thrilled to remind you of our groundbreaking initiative that underscores our commitment to a sustainable future: the "Give Back to Forest" programme. This ambitious global effort, spearheaded by the International Hockey Federation (FIH) under the visionary leadership of President Tsuyoshi Yamamoto, aims to plant 1 million trees worldwide. We are pleased to announce that this initiative has also been approved by the Executive Board of the Asian Hockey Federation.

**A Call to Action for the Hockey Community**  
As many of you know, our beloved hockey has a rich history of being played with wooden sticks. It's time for us to honour this legacy by giving back to the forest that provided us with those sticks. By planting trees, we not only compensate for the ones that have been cut down, but also invest in a greener, healthier planet for future generations.

**Your Role in This Green Revolution**  
We invite every national association within the Asian Hockey Federation to join us in this monumental effort. Together, we can make a significant impact. Here's how you can contribute:

- Pledge to Plant Trees:** Commit to planting a specific number of trees in your country.
- Organize Planting Events:** Engage your local communities by hosting tree-planting events.
- Spread the Word:** Use your platforms to raise awareness about the importance of reforestation and sustainability.
- Report Your Contributions:** Arrange these activities in your country and send detailed reports to the Asian Hockey Federation Executive Office, including steps and videos of your events.

**Together, We Can Make a Difference**  
As FIH President Tsuyoshi Yamamoto beautifully put it, "Contributing to a better planet, and especially protecting the environment, is a fundamental part of the strategy. 'Give Back to Forest' directly results from that vision. I invite all hockey members around the world to contribute to the programme."

Let us unite in this noble cause and demonstrate the power of our hockey community. By planting trees, we are planting hope and a brighter future.

**Mark Your Calendars: 1st August 2024**  
Join us on 1st August 2024 as we officially celebrate the "Give Back to Forest" initiative. Let's make this day a landmark in our collective journey towards sustainability. Together, let's make the world greener, one tree at a time!

Warm regards,  


**Ghulam Ghous**  
Head of International Relations  
Asian Hockey Federation





## 2-6. 2024年度の活動報告

### 事務局

事務局長 坂本幼樹

## 事務局の業務内容

所在地 : 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2  
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 502号室  
(略称: JSOS)

入居形式 : 定期建物借地契約

- 貸主 JSPOおよびJOC
- 契約期間 2025年4月1日～2028年3月31日
- 面積 54㎡ (16.4坪)
- 賃料 349,920円/月 ⇒ 年間約420万円  
坪単価 21,384円 (税込)

設備など : 執務用デスク10人分、小打ち合わせスペース、  
書類保管壁面キャビネット等を備える

※ 岸記念体育会館時代に存在した倉庫機能なし



## ● 業務時間

- 定時 9:30～18:00
- 総会・理事会や大会時には週末出勤
- コロナ禍を経てテレワークの推進を実施。
  - ・ 固定電話からメールベース・担当者携帯電話に対応を移行。
  - ・ 代表電話の対応は基本11:00～15:00へ

## ● 主に12の分野の業務を担当

- 4事業本部および各委員会メンバーとの連携を行い業務を推進

項目	主な業務内容
1.協会運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JOC,JSC,JSPO,JADA,内閣府,文科省/スポン対</li> <li>・ 正会員、理事・監事管理</li> <li>・ 都道府県協会・関連団体管理</li> <li>・ システム管理（メール、ファイル）</li> <li>・ 証明書発行</li> <li>・ 叙勲、表彰、冠婚葬祭対応</li> <li>・ 宮家・顧問対応</li> <li>・ 中長期計画の管理</li> </ul>
2.総務関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員サービス管理</li> <li>・ 諸規定、文書管理</li> <li>・ 契約管理</li> <li>・ 登録規程・登録システム管理</li> <li>・ 安全管理、危機管理</li> </ul>
3.経理関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 銀行入出金・口座管理、現金管理</li> <li>・ 帳簿入力管理</li> <li>・ 予算決算管理</li> <li>・ 税務対応</li> <li>・ 資産管理</li> </ul>
4.会議体運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総会運営</li> <li>・ 理事会、業務執行理事会、情報共有会運営</li> <li>・ 議事録作成</li> </ul>

項目	主な業務内容
5.強化関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>助成金関連事務（強化計画・実績管理報告、コーチ設置事業など）</li> <li>HPD及びコーチ契約管理</li> <li>NTC、JISS利用管理</li> <li>旅行会社対応（入札管理）</li> <li>保険管理（付保、保険金）</li> <li>五輪派遣手続き</li> <li>アスリート向け教育支援</li> <li>エリートアカデミー実施支援</li> </ul>
6.競技会関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会補助金管理</li> <li>開催地との調整</li> <li>プログラム挨拶文等手配</li> <li>ドーピング検査管理</li> <li>競技役員データ管理</li> <li>施設・用具認定管理</li> <li>競技規則管理</li> </ul>
7.広報関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ、SNS運用</li> <li>スチール写真素材</li> <li>大会ライブ配信・ハイライト製作対応</li> <li>記者会見、メディア問い合わせ対応</li> <li>イヤーブック、カレンダー作成</li> <li>FIH/AHF/JOCとの広報連携</li> </ul>

項目	主な業務内容
8.普及関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者講習会諸手続</li> <li>指導者データ管理</li> <li>AT、ドクター管理</li> <li>夢見るホッケー教室開催支援</li> <li>体験会開催対応、指導者派遣</li> </ul>
9.国際関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>FIH、AHF連絡窓口</li> <li>JOC国際部対応、各種会議出席</li> </ul>
10.レガシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>国スポレガシー対応</li> <li>オリンピックレガシー対応（大井ホッケー競技場関係、東京都）</li> </ul>
11.HJL連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>試合・大会開催日調整（国際大会との調整や競技役員派遣など）</li> <li>トップリーグ連携機構対応</li> <li>協働マーケティング推進</li> </ul>
12.その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ団体ガバナンスコード対応</li> <li>弁護士等専門家対応</li> <li>国スポのありかた議論対応</li> <li>愛知名古屋アジア大会対応</li> <li>物販等企画</li> <li>ホッケー振興議連対応</li> <li>コンプラ事案初動対応</li> <li>役員賠償保険管理</li> </ul>



# チーム登録数の推移（1996・2014～2024年度）

- チーム登録数は2014年度からの11年間ほぼ横ばい（約568→563チーム）  
2024年度の構成は、高校（167チーム/30%）、中学（142チーム/25%）で半数を占める  
⇒ 2019年度（東京2020大会直前）のピーク時619チームからは▲53チーム（内、スポ少▲14）減少  
⇒ 長期では、中学・スポ少・マスターズは増加の一方で、一般男子、大学女子、高校チーム数が2割以上減少

## JHAチーム数・登録者数推移

2014年度～2024年度の11年間

### ●チーム数（単位：チーム）

	一般			大学			高校			中学			スポ少			マスターズ			合計	内訳	
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計		男子	女子
参考 1996年度 ※1,2	82	31	113	46	34	80	113	96	209	52	41	93	28	30	58	NA	8	NA	561	321	240
2014年度	50	33	83	42	29	71	96	85	181	70	61	131	42	35	77	22	3	25	568	322	246
2015年度	53	32	85	44	31	75	95	80	175	71	62	133	38	33	71	20	5	25	564	321	243
2016年度	62	35	97	44	32	76	92	77	169	73	64	137	43	38	81	21	3	24	584	335	249
2017年度	68	37	105	44	30	74	95	77	172	77	66	143	46	45	91	24	10	34	619	354	265
2018年度	71	41	112	46	31	77	99	76	175	66	59	125	42	41	83	26	11	37	609	350	259
2019年度	60	35	95	44	29	73	95	76	171	77	72	149	46	39	85	30	13	43	616	352	264
2020年度（コロナ禍）	64	27	91	43	28	71	91	73	164	64	56	120	39	34	73	19	5	24	543	320	223
2021年度	59	34	93	43	29	72	86	74	160	78	74	152	46	37	83	18	4	22	582	330	252
2022年度	59	30	89	42	28	70	87	74	161	81	71	152	44	38	82	23	7	30	584	336	248
2023年度	57	30	87	42	27	69	85	78	163	69	66	135	42	34	76	32	9	41	571	327	244
2024年度	55	31	86	43	27	70	88	79	167	77	65	142	39	32	71	24	3	27	563	326	237
対前年比	-2	1	-1	1	0	1	3	1	4	8	-1	7	-3	-2	-5	-8	-6	-14	-8	-1	-7
増減数（1996 vs. 2024）	-27	0	-27	-3	-7	-10	-25	-17	-42	25	24	49	11	2	13	NA	-5	NA	2	5	-3
増減数（2014 vs. 2024）	5	-2	3	1	-2	-1	-8	-6	-14	7	4	11	-3	-3	-6	2	0	2	-5	4	-9
増減数（2019 vs. 2024）	-5	-4	-9	-1	-2	-3	-7	3	-4	0	-7	-7	-7	-7	-14	-6	-10	-16	-53	-26	-27
単純増加率（1996 vs. 2023）	-32.9%	0.0%	-23.9%	-6.5%	-20.6%	-12.5%	-22.1%	-17.7%	-20.1%	48.1%	58.5%	52.7%	39.3%	6.7%	22.4%	NA	-62.5%	NA	0.4%	1.6%	-1.3%
単純増加率（2014 vs. 2023）	10.0%	-6.1%	3.6%	2.4%	-6.9%	-1.4%	-8.3%	-7.1%	-7.7%	10.0%	6.6%	8.4%	-7.1%	-8.6%	-7.8%	9.1%	0.0%	8.0%	-0.9%	1.2%	-3.7%
単純増加率（2019 vs. 2023）	-8.3%	-11.4%	-9.5%	-2.3%	-6.9%	-4.1%	-7.4%	3.9%	-2.3%	0.0%	-9.7%	-4.7%	-15.2%	-17.9%	-16.5%	-20.0%	-76.9%	-37.2%	-8.6%	-7.4%	-10.2%

※1 一般男子は一般男子50+実業団男子30、一般女子は一般女子24+実業団女子7の合計値

※2 マスターズ男子は集計区分なし。マスターズ女子は「家庭婦人」カテゴリーの数値



# 競技者登録者数の推移（96年度～14年度～24年度）

- 競技者登録数は96年度(約11,000人)から1割程度減少(2024年度10,094人/▲893人)
  - 長期では、一般男子、高校およびカテゴリーにかかわらず女子が減少傾向
- ⇒ 1996年度対比、一般男子▲271人、高校生▲1,357人

- 他方で、クラブチームに大会参加の門戸を開いた中学生世代は2023年度対比で約500人増加

JHAチーム数・登録者数推移  
2014年度～2024年度の11年間

★登録者数(単位:人)

	一般			大学			高校			中学			スポ少			マスターズ			その他 国体等※4	合計	内訳	
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計			男子	女子
参考 1996年度 ※6,7	1,575	573	2,148	943	647	1,590	2,520	2,107	4,627	1,002	665	1,667	391	418	809	NA	146	146	10,987	6,431	4,556	
2014年度 ※3	1,051	584	1,635	990	598	1,588	2,128	1,665	3,793	1,039	769	1,808	410	299	709	304	29	333	488	10,354	5,922	3,944
2015年度 ※3	1,321	562	1,883	1,066	640	1,706	2,173	1,631	3,804	998	756	1,754	425	293	718	366	63	429	380	10,674	6,349	3,945
2016年度 ※3	1,564	684	2,248	1,113	690	1,803	2,154	1,572	3,726	996	707	1,703	456	331	787	309	29	338	378	10,983	6,592	4,013
2017年度 ※3	1,679	673	2,352	1,085	680	1,765	2,124	1,502	3,626	990	714	1,704	506	393	899	416	101	517	299	11,162	6,800	4,063
2018年度	1,655	744	2,399	1,040	643	1,683	2,089	1,462	3,551	923	705	1,628	497	432	929	512	69	581	304	11,075	6,716	4,055
2019年度	1,466	666	2,132	1,048	647	1,695	2,096	1,491	3,587	919	726	1,645	487	385	872	567	151	718	352	11,001	6,583	4,066
2020年度 (コロナ禍)	1,265	395	1,660	877	569	1,446	1,814	1,372	3,186	734	580	1,314	401	285	686	231	26	257	37	8,586	5,322	3,227
2021年度	1,400	664	2,064	960	598	1,558	1,860	1,512	3,372	939	771	1,710	543	437	980	363	15	378	296	10,358	6,065	3,997
2022年度	1,246	562	1,808	941	561	1,502	1,835	1,459	3,294	886	665	1,551	449	305	754	456	111	567	464	9,940	5,813	3,663
2023年度	1,253	576	1,829	962	581	1,543	1,818	1,434	3,252	709	388	1,097	299	225	524	533	104	637	511	9,393	5,574	3,308
2024年度	1,304	615	1,919	1,037	565	1,602	1,872	1,398	3,270	916	679	1,595	433	348	781	379	46	425	502	10,094	5,941	3,651
対前年比	51	39	90	75	-16	59	54	-36	18	207	291	498	134	123	257	-154	-58	-212	-9	701	367	343
増減数 (1996 vs. 2024)	-271	42	-229	94	-82	12	-648	-709	-1,357	-86	14	-72	42	-70	-28	NA	-100	279	502	-893	-490	-905
増減数 (2014 vs. 2024)	253	31	284	47	-33	14	-256	-267	-523	-123	-90	-213	23	49	72	75	17	92	14	-260	19	-293
増減数 (2019 vs. 2024)	-162	-51	-213	-11	-82	-93	-224	-93	-317	-3	-47	-50	-54	-37	-91	-188	-105	-293	150	-907	-642	-415
単純増加率 (1996 vs. 2024)	-17.2%	7.3%	-10.7%	10.0%	-12.7%	0.8%	-25.7%	-33.6%	-29.3%	-8.6%	2.1%	-4.3%	10.7%	-16.7%	-3.5%	NA	-68.5%	NA	#DIV/0!	-8.1%	-7.6%	-19.9%
単純増加率 (2014 vs. 2024)	24.1%	5.3%	17.4%	4.7%	-5.5%	0.9%	-12.0%	-16.0%	-13.8%	-11.8%	-11.7%	-11.8%	5.6%	16.4%	10.2%	24.7%	58.6%	27.6%	2.9%	-2.5%	0.3%	-7.4%
単純増加率 (2019 vs. 2024)	-11.1%	-7.7%	-10.0%	-1.0%	-12.7%	-5.5%	-10.7%	-6.2%	-8.8%	-0.3%	-6.5%	-3.0%	-11.1%	-9.6%	-10.4%	-33.2%	-69.5%	-40.8%	0	-8.2%	-9.8%	-10.2%
CAGR (1996-2024)	-0.7%	0.3%	-0.4%	0.3%	-0.5%	0.0%	-1.1%	-1.5%	-1.2%	-0.3%	0.1%	-0.2%	0.4%	-0.7%	-0.1%	NA	-4.0%	3.9%	#DIV/0!	-0.3%	-0.3%	-0.8%
CAGR (2014-2024)	2.2%	0.5%	1.6%	0.5%	-0.6%	0.1%	-1.3%	-1.7%	-1.5%	-1.3%	-1.2%	-1.2%	0.5%	1.5%	1.0%	2.2%	4.7%	2.5%	0.3%	-0.3%	0.0%	-0.8%

※3 2014～2017年：個人登録⇒国体成年、個人登録（学生）⇒国体少年としてカウント  
 ※4 国体（成年種別）、国体（少年種別）、中学11人制、マスターズ、JAPANリーグ、チームスタッフ、補正  
 ※5 チームスタッフ登録区分は2022年度より実施（2022年度1,736人、2023年度2,504人）  
 ※6 一般男子は一般男子920+実業団男子655、一般女子は一般女子456+実業団女子117の合計値  
 ※7 マスターズ男子は集計区分なし。マスターズ女子は「家庭婦人」カテゴリーの数値



# 1チームあたり平均登録者数の推移（2014～2024年度）

- 2023年度は、中学およびスポ少で1チームあたりの人数が大幅に減少し、平均すると、6人制の単独チームが成り立つギリギリの水準
- 2024年度は多少改善の傾向がみられるものの引続き厳しい状況

## JHAチーム数・登録者数推移

2014年度～2024年度の11年間

### ■ 1チームあたり平均登録者数（単位：人）

	一般			大学			高校			中学			スポ少			マスターズ		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
参考 1996年度 ※6,7	19	18	19	21	19	20	22	22	22	19	16	18	14	14	14	NA	18	18
2014年度 ※3	21	18	20	24	21	22	22	20	21	15	13	14	10	9	9	14	10	13
2015年度 ※3	25	18	22	24	21	23	23	20	22	14	12	13	11	9	10	18	13	17
2016年度 ※3	25	20	23	25	22	24	23	20	22	14	11	12	11	9	10	15	10	14
2017年度 ※3	25	18	22	25	23	24	22	20	21	13	11	12	11	9	10	17	10	15
2018年度	23	18	21	23	21	22	21	19	20	14	12	13	12	11	11	20	6	16
2019年度	24	19	22	24	22	23	22	20	21	12	10	11	11	10	10	19	12	17
2020年度（コロナ禍）	20	15	18	20	20	20	20	19	19	11	10	11	10	8	9	12	5	11
2021年度	24	20	22	22	21	22	22	20	21	12	10	11	12	12	12	20	4	17
2022年度	21	19	20	22	20	21	21	20	20	11	9	10	10	8	9	20	16	19
2023年度	22	19	21	23	22	22	21	18	20	10	6	8	7	7	7	17	12	16
2024年度	24	20	22	24	21	23	21	18	20	12	10	11	11	11	11	16	15	16
増減数（1996 vs. 2024）	5	1	3	4	2	3	-1	-4	-3	-7	-6	-7	-3	-3	-3	NA	-3	-3
増減数（2014 vs. 2024）	3	2	3	1	0	1	-1	-2	-1	-3	-2	-3	1	2	2	2	6	2
増減数（2019 vs. 2024）	-1	1	-0	0	-1	-0	-1	-2	-1	-0	0	0	1	1	1	-3	4	-1
単純増加率（1996 vs. 2024）	23.4%	7.3%	17.4%	17.6%	10.0%	15.1%	-4.6%	-19.4%	-11.6%	-38.3%	-35.6%	-37.3%	-20.5%	-21.9%	-21.1%	NA	-16.0%	-13.7%
単純増加率（2014 vs. 2024）	12.8%	12.1%	13.3%	2.3%	1.5%	2.3%	-4.0%	-9.7%	-6.6%	-19.9%	-17.1%	-18.6%	13.7%	27.3%	19.5%	14.3%	58.6%	18.2%
単純増加率（2019 vs. 2024）	-3.0%	4.3%	-0.6%	1.3%	-6.2%	-1.4%	-3.6%	-9.8%	-6.7%	-0.3%	3.6%	1.7%	4.9%	10.2%	7.2%	-16.4%	32.0%	-5.7%
CAGR（1996-2024）	0.8%	0.3%	0.6%	0.6%	0.3%	0.5%	-0.2%	-0.8%	-0.4%	-1.7%	-1.6%	-1.7%	-0.8%	-0.9%	-0.8%	NA	-0.6%	-0.5%
CAGR（2014-2024）	1.2%	1.1%	1.3%	0.2%	0.1%	0.2%	-0.4%	-1.0%	-0.7%	-2.2%	-1.9%	-2.0%	1.3%	2.4%	1.8%	1.3%	4.7%	1.7%

# JSC助成金の活用拡大 ⇒ 申請・報告事務負担の増大

	2022年度（交付決定額実績） - 5事業 合計3,200万円	2025年度（交付決定額） - 15事業 合計9,616万円
<b>くじ助成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ スポーツ活動推進事業</li> <li>➤ タレント発掘・一貫指導育成事業</li> <li>➤ スポーツ団体ガバナンス強化事業</li> </ul> 	<b>計 4事業 2,200万円</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 夢見るホッケー教室</li> <li>• U-12ドリームキャンプ</li> <li>• U-12オールスター戦</li> <li>• インドアホッケーフェスティバル2023</li> </ul>	<b>計 13事業 9,016万円</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ スポーツ活動推進事業（約1,500万円） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 夢見るホッケー教室</li> <li>• マスターズジャパンカップ</li> <li>• 海外指導者招聘事業</li> <li>• イヤーブック制作</li> <li>• 中学生都道府県対抗（11人制）</li> </ul> </li> <li>➤ タレント発掘・一貫指導育成事業（約7,400万円） <ul style="list-style-type: none"> <li>• U-12ドリームキャンプ</li> <li>• U-12オールスター戦</li> <li>• JHAIリートアカデミー第4期</li> <li>• U-15日本代表選手選考会</li> <li>• U-15日本代表海外遠征</li> <li>• U-17/18日本代表選手選考会</li> <li>• U-17日本代表海外遠征</li> </ul> </li> <li>➤ スポーツ団体ガバナンス強化事業（72万円）</li> </ul>
<b>基金助成</b> 	<b>計 1事業 1,000万円</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• WMH Masters Hockey World Cup</li> </ul>	<b>計 2事業 600万円</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全日本選手権（男子女子）</li> <li>• 大学選手権大会</li> </ul>

# 第1号議案 令和6年度決算報告

---

理事 財務総括部長 福島雄裕

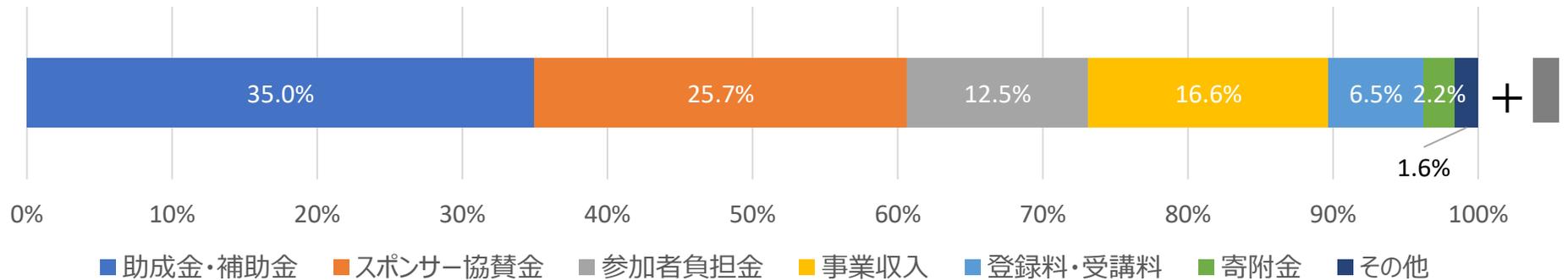
監事 清水美音子

監事 花野信子

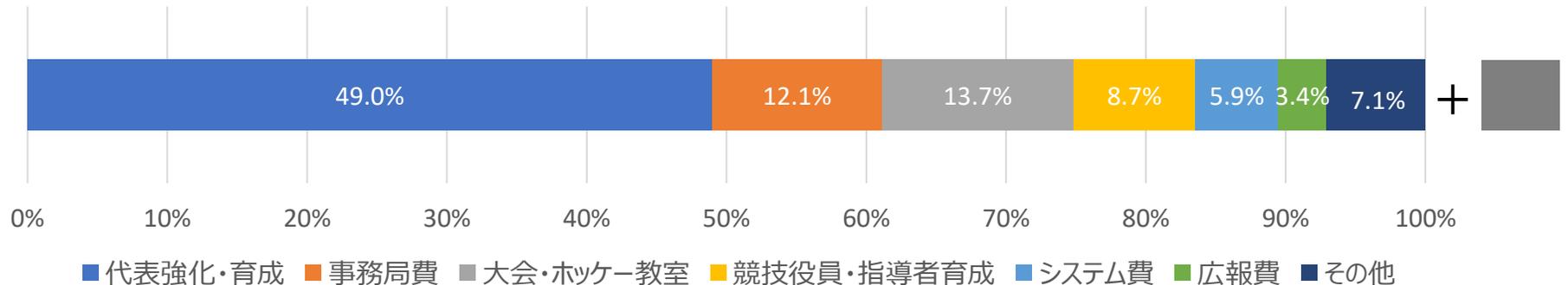
# 令和6年度（2024年度）の収支差について

2024年度は4期ぶりに黒字となり、約2,400万円の収支差で着地

経常収益：454.2百万円（前年度：410.4百万円） + 経常外収益：3.4百万円



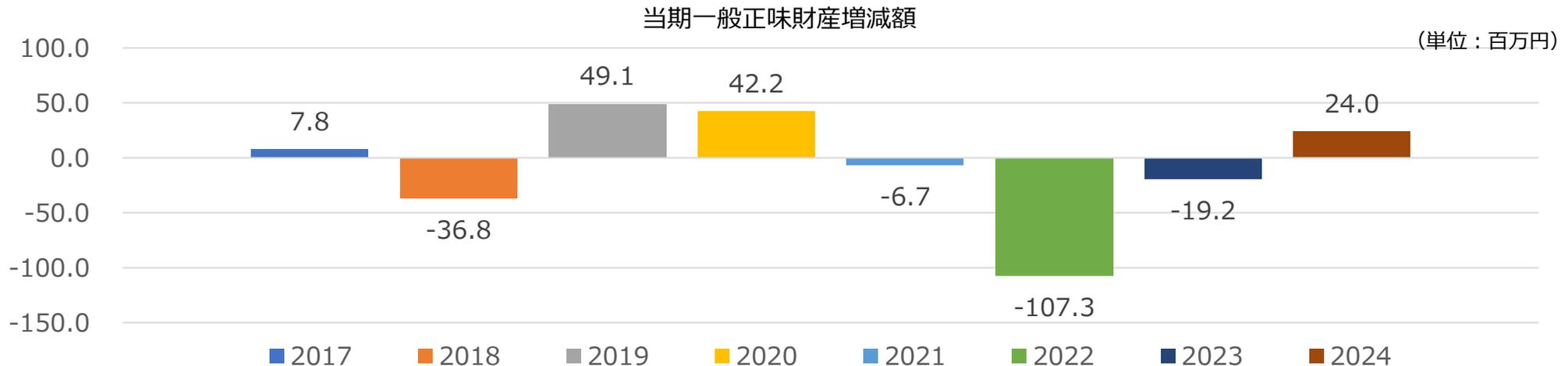
経常費用：421.7百万円（前年度：429.6百万円） + 経常外費用：11.9百万円



# 2017年度～2024年度の財務推移

直近3期（2021年度～2023年度）は収支差がマイナスであった。公益法人は法律上、中長期的な収支相償（公益目的事業の収益が費用を超えないこと）が求められる

(単位：百万円)



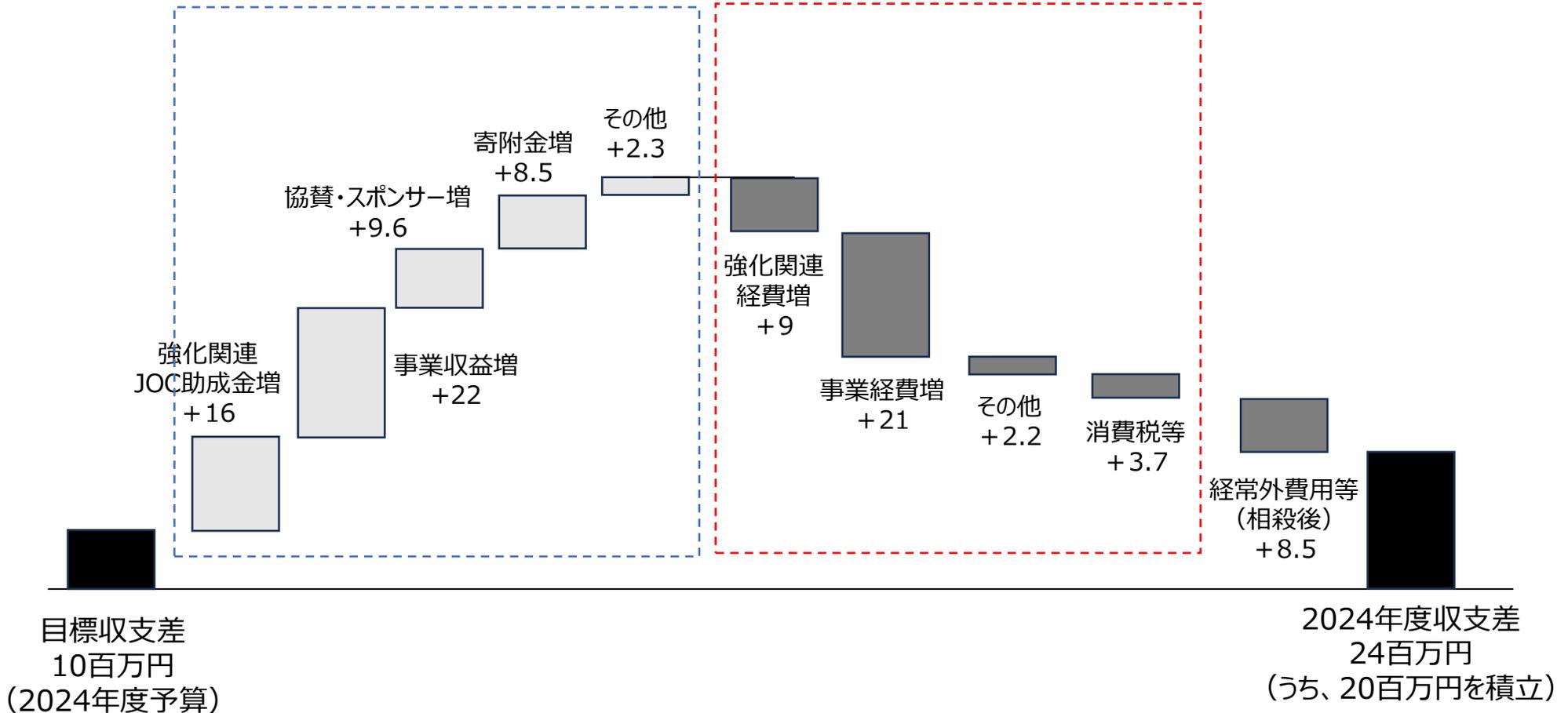
# 収支増減の要因（2024年度）

2024年度は予算策定時の目標収支差10百万円に対して、24百万円で着地  
 そのうち20百万円を特定資産（特定費用準備資金・国際大会参加事業積立資金）として積立を行った

収入増加（予算額+58.4百万円増加）

費用増加（予算額+35.9百万円増加）

（単位：百万円）



※J-STAR+5,000は相殺のため収支差要因から除く

# 令和7年度 事業計画について

専務理事 多氣洋平

- 4月 : 高円宮杯2025ホッケー日本リーグ ※11月まで
- 6月 : 定時総会、FIHネーションズカップ (Men : マレーシア)
- 7月 : 全日本大学王座 (関西)、U18男女AHFアジアカップ (中国四川省)
- 8月 : インターハイ (鳥取県)、全日本中学生選手権 (香川県、愛媛県)  
AHFアジアカップ (8月Men : インド、9月Women : 中国杭州)
- 9月 : 全日本社会人選手権 (青森県)、全国スポ少交流大会 (東京都)  
全日本マスターズ (富山県)
- 10月 : 国民スポーツ大会 (滋賀県)、全日本中学生11人制 (福井県)
- 11月 : インカレ (東京都)、全日本選手権 (未定)、マスターズJapan CUP (東京都)
- 12月 : U21男女 FIHジュニアワールドカップ (インド、チリ)、全国高校選抜 (岐阜県)
- 2月 : 全国ルール研修会 (大阪)、地域協会連絡会 (東京)、FIH理事会 (東京) ?

# 開かれた協会へ

情報開示による、ステークホルダーとの課題共有  
老若男女、意欲のある人が活躍できる組織へ



日本ホッケーの将来を真剣に考え、行動してくれる、多様な人財の抜擢

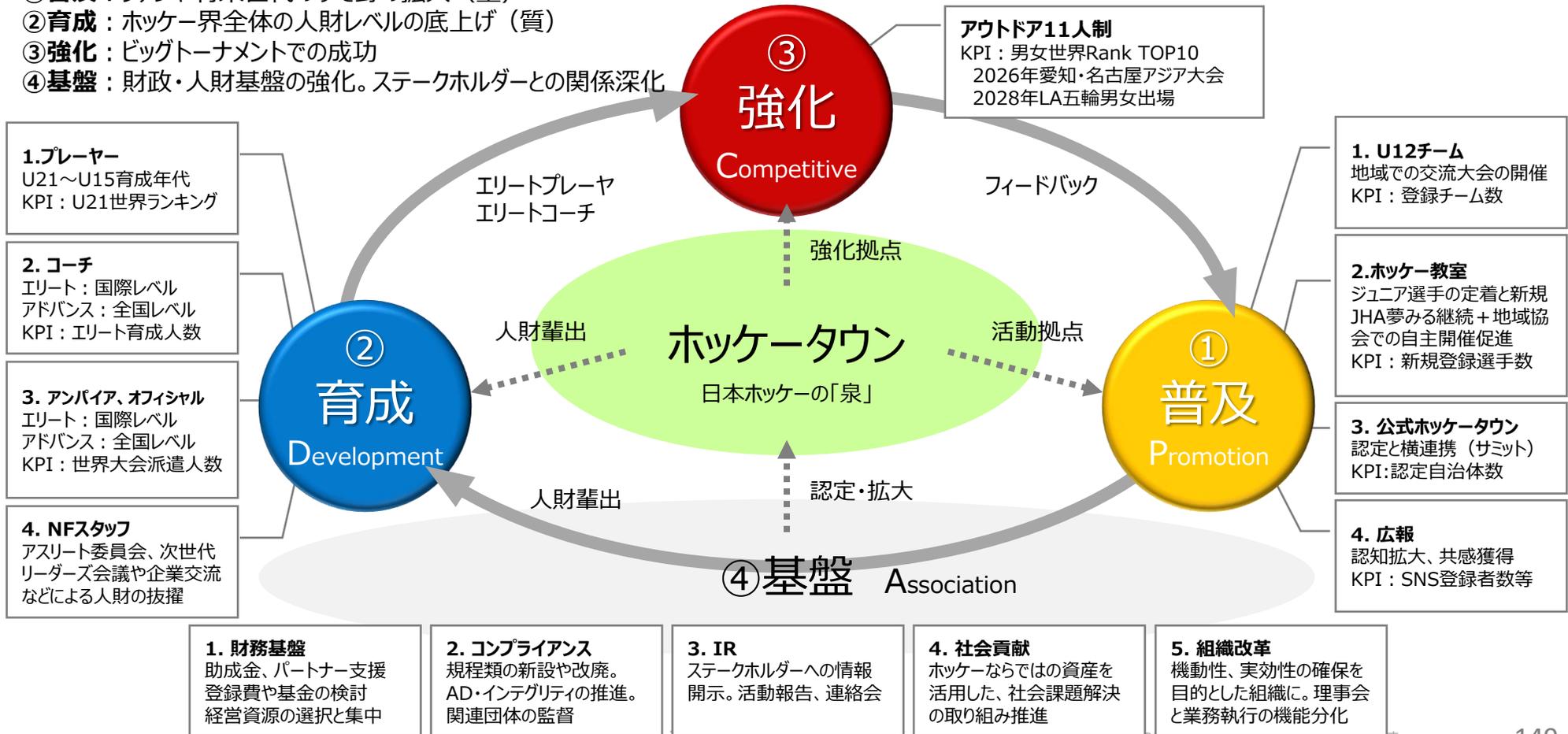
# (再掲) 中期運営方針案「PDCA 2028」

**基本戦略：ホッケー独自の強み・資産を開発し発展するブルーオーシャン戦略**

**基本方針：社会共創による、ホッケーファミリーの拡大**

代表チームの長期継続的な競争力確保の為には、すそ野の拡大（普及）、支える人財のレベルアップ（育成）、組織基盤の安定が必須であると捉え、それらを支えるホッケー界100年の独自資産である「ホッケータウン」との連携・深化を推進することに重点をおく

- ①**普及**：ファンや将来世代のすそ野の拡大（量）
- ②**育成**：ホッケー界全体の人財レベルの底上げ（質）
- ③**強化**：ビッグトーナメントでの成功
- ④**基盤**：財政・人財基盤の強化。ステークホルダーとの関係深化



# (再掲) JHA長期計画 “ゲームプラン2035”

世界レベルでの代表強化、大会開催能力、集客&メディア発信力を養う為、世界最高峰リーグ（FIH PROリーグ）への5年以内の参戦を目下の目標とする。TOPリーグへの参戦はこれまでにない大きな資金や人的リソースが必要となるが、「PDCA」が一体となって、日本を地力を世界レベルに引き上げ、世界の強豪の一角として、永続的に世界大会で結果が出せることを目指したい。

ベンチマークとなる国際大会

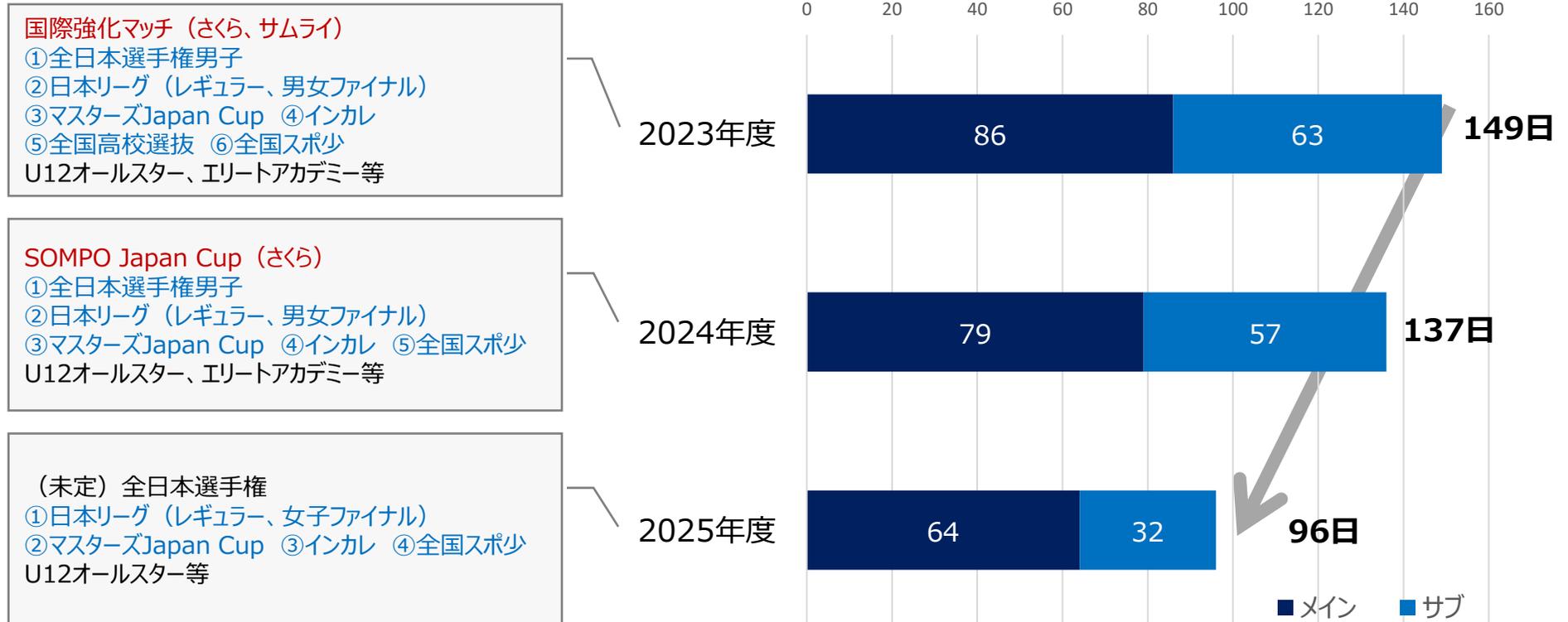
	第1クォーター 2024～26	第2クォーター 2027～29	第3クォーター 2030～32	第4クォーター 2033～35								
ゲームプラン 基本方針	大事な立ち上がり しっかり守備から (ローリスク・力を蓄える)	チャンスを見極め、PCを狙う (局地戦)	ゲームを支配し、得点を狙う (全方位)	有終の美・勝利 次戦につなげる (集大成)								
FIH W杯	2026W杯 男女出場	2028 2034W杯招致プロポーサル	2030W杯 男女ベスト8 2034W杯決定	2034日本W杯開催 男女優勝								
オリン ピック	パリ2024 女子出場	LA2028 男女出場	ブリスベン2032 メダル獲得	インド? 2036 金メダル								
FIH PROリーグ	世界8ヶ国が参加できる国別 世界最高峰リーグ。アジアでは、 インド男女、中国女が参戦。 参加国が持ち回りで開催	2028 PROリーグ参戦 可能性①	2030 PROリーグ参戦 可能性②	2035 PROリーグ優勝								
Asian Games	2026愛知・名古屋 男女TOP2		2030カタール・ドーハ 男女優勝	2034大会 男女優勝								
強化予算 (百万円)	FY24 200	FY25 200	FY26 250	FY27 280	FY28 300	FY29 300	FY30 450	FY31 480	FY32 480	FY33 530	FY34 530	FY35 530
追加必要人材		1名	1名	1名	1名	1名	2名	2名	2名	2名+	2名+	2名

東京2020レガシー存続の為、大井での積極的な大会、事業を進めてきたが、ホッケーでの確保日数は減少傾向。

方針として、年120日程度の確保と継続的な全国大会の開催、新たな国際大会の開催を地域と共に進め、施設の存続に繋げる、実績の積み上げとアピール、また将来に向けた大会開催能力を培っていく

大井で開催された、主なJHAの主催大会、事業

大井ホッケー競技場の年間優先予約確保日数の推移（日）



出典：東京都ホッケー協会

# 2025年度の取り組みについて（まとめ）



## 戦略統括本部：JHAの経営課題の解決

→財務基盤の強化、情報開示の促進、協会運営を支えてくれる人財の確保



## 強化育成本部：日本代表チームの競技力向上

→シニア代表チームの大会での成功、育成年代の強化、コーチの育成及びレベルアップ



## 事業本部：ホッケーファミリーの「する」「みる」「支える」ができる場を創造する

→競技大会の開催、競技役員の養成、生涯スポーツとしての受け皿づくり、ホッケータウンの連携深化



## コーポレート本部：JHAおよびホッケーの社会的信用と存在価値の向上

→JHAメディアの積極活用、国際的なプレゼンスアップ、組織運営のガバナンス強化

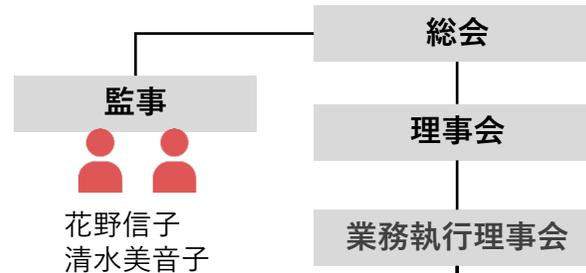


## 専門委員会：社会の一員として果たすべき役割や責任を明確にし、その啓発および発展性のあるテーマの深堀



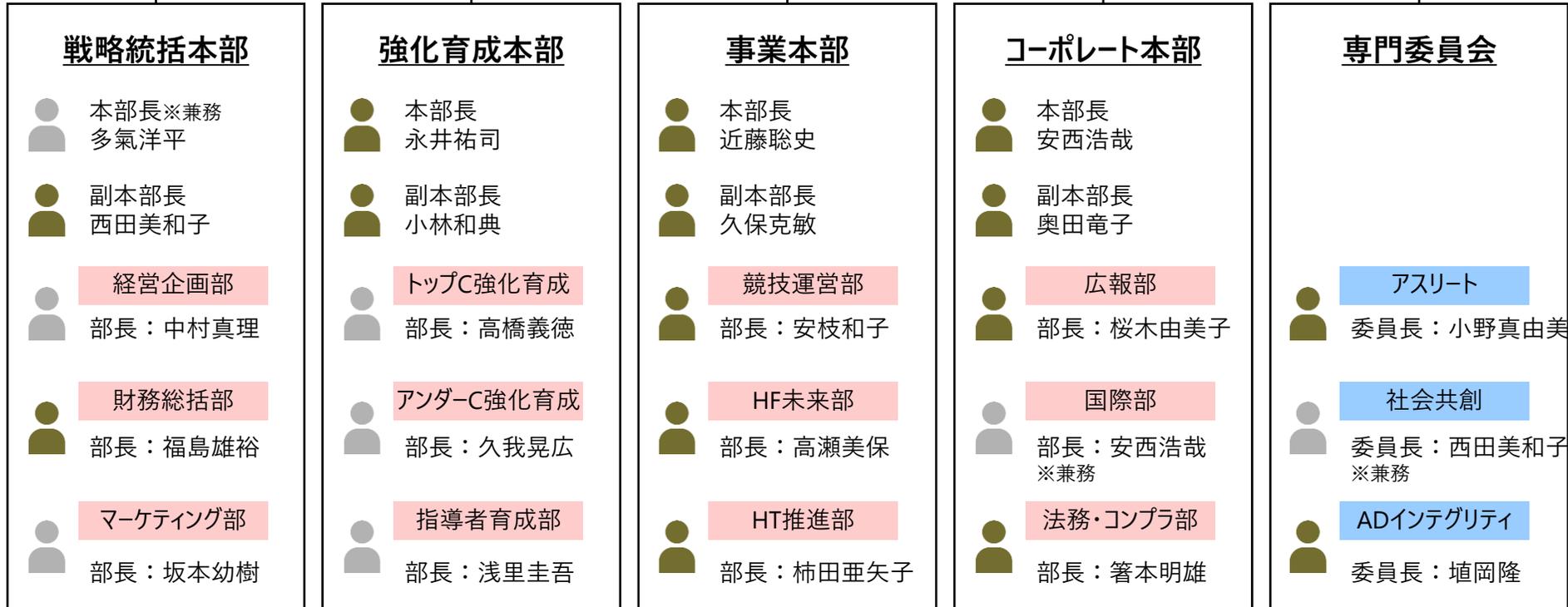
## 事務局：組織運営の要として、定常業務の滞りない遂行と本部、委員会の事業をサポート

- 会長  
三須和泰
- 副会長  
北野妙子
- 専務理事  
多氣洋平



事務局長：坂本幼樹

**事務局** 本部、委員会の業務支援、定常業務



## 令和7年度 収支予算について

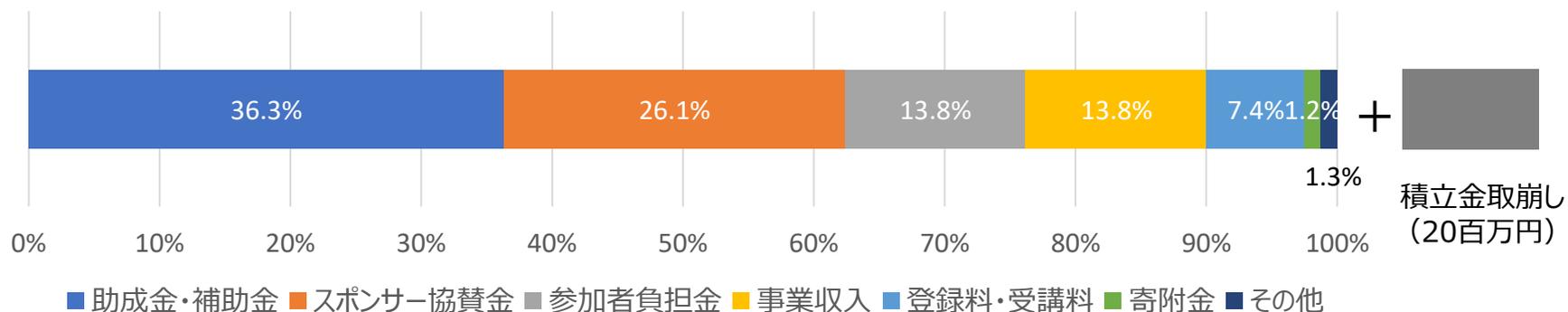
財務総括部長 福島雄裕

※本資料に記載の財務情報は新たな事実や今後の為替動向等により、大きく変更が生じる場合があります。  
※本資料に記載する見解や評価は記載時点でのもので、将来を正確に予想することも困難です。  
あくまで、現時点に判明している情報に基づき作成しておりますが、その正確性を保証するものではありません。

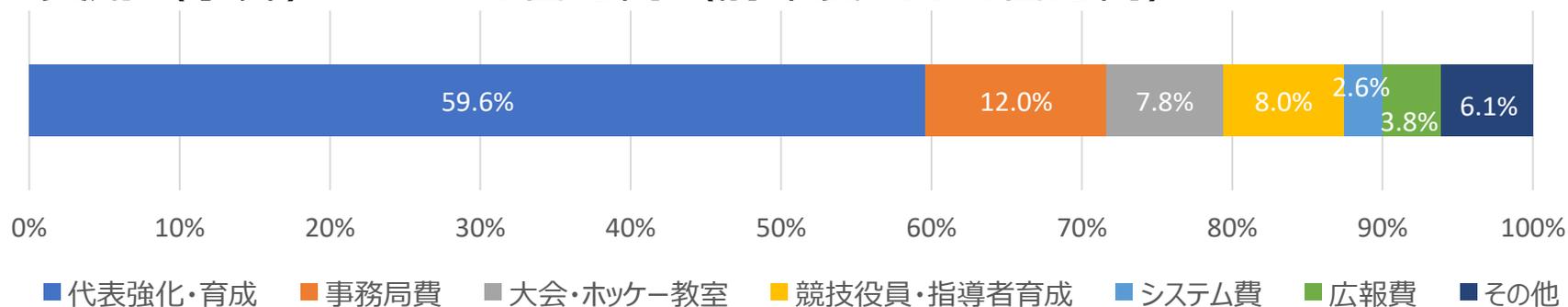
## 令和7年度（2025年度）予算について

2025年度は減収が見込まれており、予算のメリハリと積立金の取崩しで収支均衡を保ちながら、2025年度事業を実施していく。

収益（予算）：423.3百万円（前年度457.6百万円）

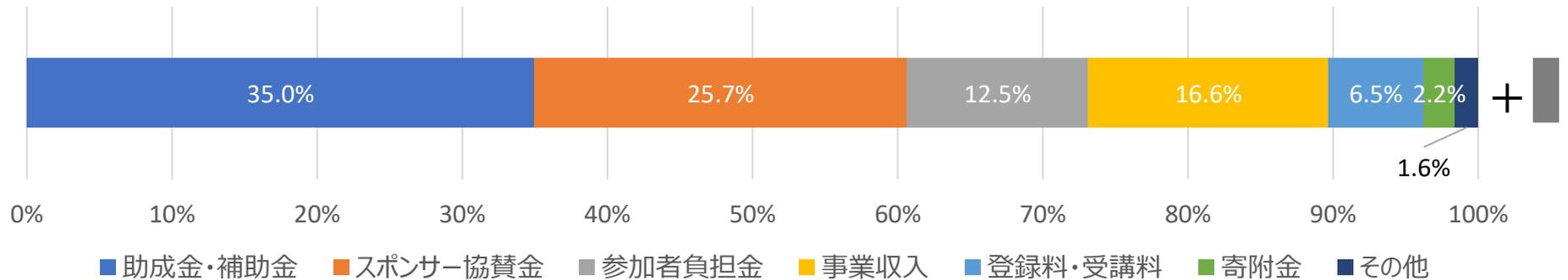


費用（予算）：412.8百万円（前年度433.6百万円）

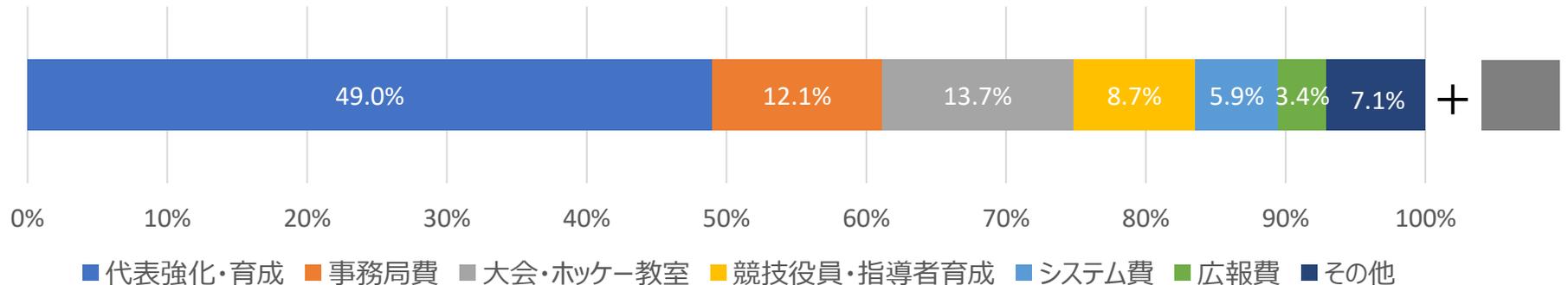


2024年度は4期ぶりに黒字となり、約2,400万円の収支差で着地

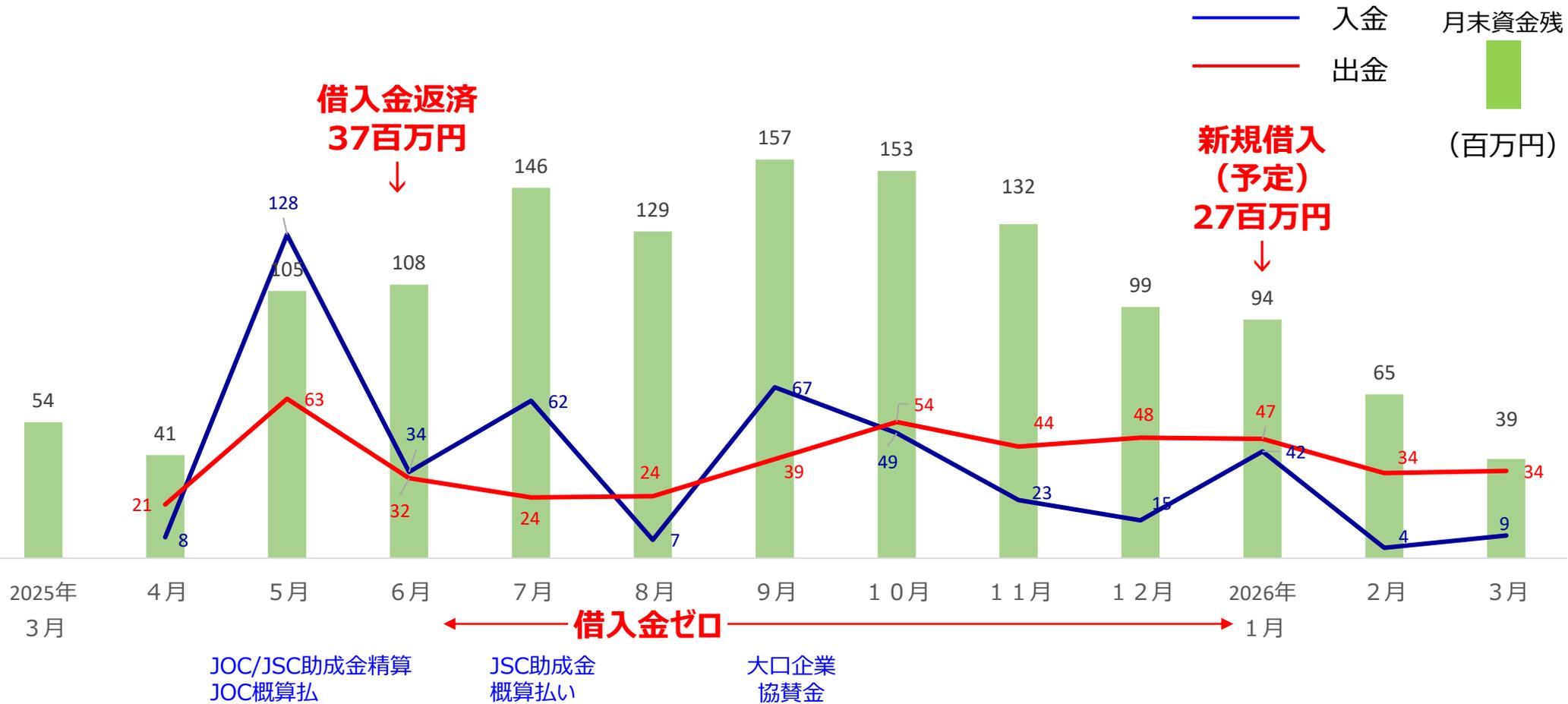
経常収益：454.2百万円（前年度：410.4百万円） + 経常外収益：3.4百万円



経常費用：421.7百万円（前年度：429.6百万円） + 経常外費用：11.9百万円



# JHA資金繰り見込み（2025年度）



- 主な資金源：JOC/JSC等公的補助金（前年度精算・今年度概算払い＝5月、7月）、大口企業協賛金(9月想定)
- 大きな出費（年度後半に集中） 国際大会
  - シニア：アジアカップ(男子8月@インド、女子9月@中国)、ワールドカップ最終予選（男子・女子2026年2月@未定）
  - U21：Jr.ワールドカップ(男子11月@インド、女子12月@チリ)
  - U18：Jr.アジアカップ（男子・女子7月@中国）、ミルナワンカップ（11月@マレーシア）等
- 借入金：37百万円は6月に返済、2026年1月頃：27百万円を新規借入予定

※注：本資料中の年度の記載は一部を除いて西暦表記としています。